

---

# 竜胆の花と青い薔薇

日野五十鈴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

竜胆の花と青い薔薇

### 【ZPDF】

Z0626F

### 【作者名】

日野五十鈴

### 【あらすじ】

基本的に歌詞です。どれかひとつだけ、1小節だけでも、皆様の心の中で何かが響き渡りますように…。 更新しました 8/5

## 竜胆花

涙色した花びら

風の中ひとり揺れて  
哀しい姿そのまままで  
かまわない 笑つてよ

竜胆花

冷たい雨に打たれて君は  
花を閉ざしていた

たつたひとり雨に濡れてる  
僕と重なって見えた

雨があがつて急いで僕は  
仲間のもとに帰つたけど  
君はまだあの場所でひとり  
(風の)流れに身を

任せているのかな…

サヨナラを言うためだけに  
逢いにきたんじゃないよ  
悲しむ君を愛するから  
もう一度 咲かせてよ

竜胆花

薔のまま手折られて君は  
もう花開くことはない  
だけど僕の分からずやな脚は

秋の山に駆け出してるんだ  
雲の切れ間に青空が見えて  
君は陽に照らされ咲いてる  
それでよかつた

それだけでよかつた

(きっと)世界がまるで  
変わったのに…

唄を知らぬ離みみたいに  
ただ啼くだけの僕だけど  
涙に迷うその前に  
胸の痛み 伝えてよ

竜胆花

それでも僕は無力を嘆いて  
終れる程もう幼くはない  
君がくれた世界の真実  
ポケットに今歩き出す…

涙色した花びら

風の中ひとり揺れて  
哀しい姿そのまままで  
かまわない 笑つてよ

サヨナラを言つためだけに  
逢いにきたんじゃないよ  
悲しむ君を愛するから  
もう一度 咲かせてよ

竜胆花

# Wonderful World

どこに行きたい？

行けるところまで！

何も持たずに？

そう、この身ひとつで

靴も脱ぎ捨てて？

裸足のままで

翼が無くても

どこまでも行けるよ

鉄の匂い機械<sup>メカ</sup>の音

充满するこの街で

生きてゆくほどに慣れだす

激しい衝動

広い草原の遙かへ

白い氷原の彼方へ

準備はいい？

僕はできたよ

さあ、走りだそうぜ！

I t ' s a w o n d e r f u l w o r l d .

世界が君を待つてる

W h y d o n ' t y o u g o o u t o n  
t h e s t r e e t ,

行こう。声の呼ぶ方へ

a n d t e l l m e w h o ' s  
b e a u t i f u l o n e ?

その田を開けてござんよ

ほら

Stand up now, and go.

見えるだろう?

この素晴らしい景色が

最後に何がしたい?

何もしないかな

望みはないの?

とっくに捨てたよ

じゃあ、どこまで行くの?

当てなんてない

気の向くまま

それだけが道標

錆色の風が渦巻く

赤褐色の空のもとで

求めるほどに騒ぎだす

ヤワな感情

晴れた野原の窓辺

枯れた野バラの跡へ

準備はいい?

僕はできたよ

さあ、走りだそうぜ!

It's a wonderful world.

僕を捕まえてみて

Now let us fight to

catch a freedom.

でないと

どこまでも行っちゃうよ?

To do away with every

chain.

その手を放さないでいて

There's so little time  
now.

終点過ぎても

走つて行きそだから

事実と小説

夢と現実リアル

混り合うこの世界を

駆け抜けるほどに

迷い込む複雑な迷路

爪痕残す光の

夢溢れてゆく未来へ

そこには一緒に行けない

ちよつと…残念だけど

It's a wonderful world.

世界が君を喚んでる

Why don't you go out on

this way,

行けよ

一人になつてでも

and tell me who's

diabolic child?

耳を澄ましてござらんよ

ほら

The real world isn't so

kind.

聞こえるだろう?

Jの素晴らしい歌声が

I t ' s a w o n d e r f u l w o r l d .

僕だけを見つめていて

N o w l e t u s f i g h t t o

g e t a t r u t h .

でないと

どこにでも行っちゃうよ?

T o d o a w a y w i t h e v e r y

b o r d e r .

その目を逸らさないでいて

L i f e m e a n s n e v e r h a v i n g

t o s a y y o u ' r e s o r r y .

世界の果てまで

飛んで行きそだから

## 星空のLicht

夜空に輝く満天の星  
地上に光る沢山の灯<sup>ひ</sup>  
スバルや明星、北斗七星  
この地上にも輝いてる?  
沢山の光その中に

何が見える? 誰が見える?

長い夜が明け朝日は昇り  
星はすうーーと消えていった  
あの光は何処へ消えた?  
空ばかり見る人ごみの中  
僕らは、さまよい続ける  
見えるものだけが真実じやない  
空の星だけが全てじやない  
地上に光る灯<sup>ひ</sup>の中にも

答えはある

きっと見つかる

幾千もの永い時を越えて  
地を渡つた遙しき鳥

三ツ星に北極星  
サザンクロス

南十字星

この地上にも光つてる?

時の中で天と地の間で

何があつた? 何が見えた?

再び何処かで朝日は昇り

星はまた消えていった

僕らの夢は何処へ消えた?

下ばかり見る人ごみの中

僕らは、探し続ける

泣かないだけが強さじゃない

闘うだけが勇気じゃない

流した涙のその数だけ

強さはある

きっと見つける

いつも一人きりだと思つてた  
一人で生きてゆけると信じてた

アンドロメダ、マゼラン、天の川

あの日僕には見えなかつた

空から沢山の雨が降つて

もう何もない。何も見えない

それでも変わらずに朝日は昇り

星はもう消えていた

あの人ごみは何処へ消えた?

廃墟と化した街並みの中

僕は、歩き続ける

人は一人じゃ生きてゆけない

ただ寂しくてただ恋しくて

なくして初めてやつと分かつた

悲しみはある

こんな僕にも

夜空に輝く満天の星  
地上に光る沢山の灯<sup>ひ</sup>

ペルセウス、ヘルクレス  
英雄

アルゴ号

この地上にもやっと見えた  
あの日あの時喪われた人の  
面影が煌々と燃えているよ  
いつもと同じように朝日は昇り  
星はもう消えていった

僕の涙は何処へ消えた？

この空の下でこの地の上で

僕らは、求め続けた

真実だと<sub>しあわせ</sub>幸福だと

生きることとか何もかも  
歩き疲れた。今更になつて  
でも大丈夫、もう諦めない

僕らの夢は絶えていない  
この何もない暗闇の中を  
小さな明かりを灯して

僕はいつの日かきっと取り戻す  
失った星を、なくした灯をひ  
今を生きてる僕の未来は  
終わってないから  
終わらせないから

## 片翼のLetter

もし迷惑だつたら  
無かつた事にして下さい  
悪いのは全部僕のせい?  
だつたら仕方ないかもね  
流れる雲をいつも  
目で追つてた君だから  
きっといつかは僕の前から  
いなくなるとは思つてた  
髪を切つて  
「似合うでしょ?」つて  
笑つた君眩しそぎて  
笑顔に隠した傷にさえ  
気付けないこんな僕で:  
11小節のlove song  
紙ヒローキにしても  
この雨の中じやmy heart  
飛ばないかもしけない  
だけど  
Where are you now?  
君の行方も分からぬから  
空に向けて投げ飛ばすよ  
片翼のworn-out letter  
全てを見透かすよつな

眼差しが最初怖かった

今さらその目に優しさがあると

気付いても遅すぎる?

見えない誰かといつも

闘つてた君だから

何も言わずに一人きりで  
いなくなるとは思わなかつた

肩を抱きたいけれど

君はもう誰の物でもない

心に隠した秘密さえ

分け合う事も知らなくて…

本当の事言えば

g i v e m e a t r u t h

言いたいことばっかりで

それでも今度はe v e r y t h i n g

話すことなんて出来ない

だけどd o n ′ t s a y g o o d - b y e

中身は僕の我儘だから

だから一言だけ書かせて?

片翼のw o r n - o u t l e t t e r

怖くて君にずっと

言えなかつた事があるんだ

君が…ごめん

やっぱ言えないよ

次は絶対きつと送るから…

追い風が吹いたらf l y a w a y

この指を離すよ

そしたら僕のs t r a y h a n d s

中に何も残らない

思い出も夢も  
幼気な未来予想も  
空に向けて君に返すよ  
片翼のworn-out  
letter

## カイザクラ

人生つてどれほど誠実に生きても  
上手くいかないもんなんだね  
頑張れば全てが善くなるだなんて  
幻想でしかなかつたわけで  
浅瀬でしか生きられない俺等  
汚れた水に流されて生きた  
それを悔やむのなら

次こそ自分の殻固く閉ざして  
己という不落の城を築こう  
もしこの世に  
また生まれ変わるなら

人には  
ヒトにだけはなりたくない  
深く暗い海の奥底  
物言わぬ貝にでもなるうか

あの年齢で

眩しい笑顔だけ残し  
一人きりで奴は逝つちまつた  
サクラノキ。夕焼けを背に佇み  
奴の遺言  
ひとり反復く  
ひとり反復く  
寒さに耐え花開いたあいつ  
散りゆく運命と

分かつて咲いた

それを望むのなら

次こそ誰からの支配も受けない

太い樹の細い枝に

ひつそりと咲こう

もし庭の梢に咲こうとも

いはずれは

いずれ散りゆく命なら

誰の手も届かないような

高みに花を咲かせようか

仰いだ夕焼け

消えたヒロー<sup>キ</sup>

空へと続く

次への my thirteenth step

いま踏みしめて

戦友よもうすべ  
とも

もつすぐ俺も

お前等の、お前の眠る所へ向かう

終極の testament ひとつ遺し

儂く静かに散つて逝こう

もしこの世に

また生まれ変わるなら

人には

ヒトにだけはなりたくない

深く暗い海の奥底

物言わぬ貝にでもなるうか

癒えない傷を負いながら  
ただ道を往く旅人よ  
引き返すがいい。すぐ戻るがいい  
動けなくなる前に

旅立つ君を待つものは  
冷たい風と漆黒の闇  
明けない夜はまだ続く  
寒い日々もまだ続く  
深い森に迷い込んだ  
名もない弱き旅人よ  
この出口への道標みちしるべ  
君には見えないはずだ  
さため自分の運命に従つて  
大人しくしていればよいものを…  
癒えない傷を負いながら

ただ道を往く旅人よ  
引き返すがいい。すぐ戻るがいい  
動けなくなる前に

小雪の交じる向かい風  
東の空に光明なく  
穢れも知らぬ柔肌にひかり  
刻まれたるは朱の条曇りはじめたその眼すじ  
あけ

見据える先は遙か遠く  
都会の砂漠訪れて  
すぐまた消える靴の跡  
生きた証など残さず  
白いまま儚く消えてゆけば…  
消せない罪を胸に抱き  
歩き続ける旅人よ  
諦めるがいい。すぐやめるがいい  
倒れてしまう前に

それでも君は向かうのか  
光を求めて、温もりを探して  
(みつけて…)

冷たい雨に濡れながら  
寒さこらえる旅人よ  
ならば往くがいい  
見せてあげよう  
君の望む光を！

癒えない傷を負いながら  
ただ道を往く旅人よ  
引き返すがいい。すぐ戻るがいい  
動けなくなる前に

## カムパネルラの空

戦場のようなこの街で  
僕らは傷だらけになりながら  
目の前の相手を敵と見なして  
何ひとつ信じられずに  
誰かを愛する気持ちさえ  
僕らは忘れて武器を取り  
戦ってきた 傷つけてきた  
戦場のようなこの街で  
アスファルトの間に咲いた  
名もない小さな花が  
倒れ伏した僕の目の前で  
踏まれて消えていった  
僕らは誰も  
この惑星に生まれ  
誰かと出逢う運命ならば なぜ  
傷つけあう必要があつたのか  
信じよう  
僕らが呱々の声をあげて  
生まれてきたのは  
傷つくためだけじゃない  
休戦の夜が訪れても  
星は刻々と姿を変える  
過去に多くの人が同じ過ちを

繰り返してきたというのなら

僕らもまた同じ過ちを

同じ星空を見上げた後で

やはり繰り返して

しまうのだろうか

休戦の夜が訪れても

小さな子供の中に芽生えた

無邪氣すぎる夢でさえも

僕らの犯したこの過ちは

摘み取つてしまつのか

僕らは誰も

この惑星に生まれ

誰かと出逢う運命ならばなぜ

愛しあうことが難しいのか

信じよつ

僕らが呱々の声をあげて

生まれてきたのは

悲しむためだけじゃない

今は銀河の向こうにいる  
僕の知る幼い子供ならば  
萎れた花をアスファルトの亀裂に  
植え直してくれるだろうか

僕らは誰も

この惑星に生まれ

誰かと出逢う運命ならばなぜ

傷つけあう必要があつたのか

信じよつ

僕らが呱々の声をあげて

生まってきたのは  
傷つくためだけじゃない

僕らは誰も

この惑星に生まれ

誰かと出逢う運命ならば

なぜ

愛しあうことが難しいのか

信じよう

僕らが呱々の声をあげて

生まれてきたのは

悲しむためだけじゃない

## exit

‘Don’t run away!  
You have been saying to  
yourself.

君の口癖憶てるよ

‘Don’t run away!  
でも目を逸らさないで  
目の前のexitからは

人として強いつて  
どういうコトなのかな  
拳や言葉で戦うのも  
悪くないよね  
but, you?  
気付いてないフリして  
非常口から目を逸らして  
る  
通氣孔まで塞いだら  
心がパンクしちゃうよ  
君に求めているのは  
神話の英雄なんかじゃない  
気弱な少年のままで  
欲しいのはyou and  
愛<sup>あい</sup>

‘Don’t runaway!  
You have been saying to  
yourself.

君がいつも吐いてたセリフを

‘Don’t run away! ’

でも心のexit

力だけ開けておこう

世界の人を救うとか  
大それたコト言えない  
たとえいくら強くなつても  
争いはendlessだから

so you ,

唇噛み締めながら  
部屋に入つていつた  
溜め込みすぎた涙で  
堤防が決壊しそう  
君が求めているのは  
救いの女神だけなのかい  
気弱な少年のままで  
欲しいのは 優<sup>ゆう</sup> or me?

‘Don’t run away!

You have been saying to  
yourself .

君の口癖憶てるよ

‘Don’t run away! ’

でも目を逸らさないで  
目の前のexitからは

‘Don’t run away!  
You have been saying to  
yourself .

君がいつも吐いてたセリフを

‘Don’t run away!

でも心のexit

カギだけ開けておこう

‘Don’t run away!

You have been saying

to

yourself.

## サカミチ

ボストンバッグだけを片手に  
鈍行待つてた夜空の下  
時計の針一周する頃  
俺の隣に誰がいるんだろう

春も酣な午後三時半  
カラリ晴れ上がった青い空  
タバコの煙空の向こうへ  
口元から緩く昇つてく  
あの広い空を見上げてごらん?  
何もかもどうでもよくならない?  
青い空も真っ白な雲も  
俺にはバカバカしいだけなのに  
そんなんで心が晴れんなら  
神様仏様いらねーつつう  
雲が余裕かまして泳いでる  
吸殻ポイ捨てして  
キーを回して  
訳もなく雲追いかけてた  
疲れ果てた旅の果てに  
俺等は何を思うんだろう  
この長い長い登り坂を  
ガムシャラに駆け上つていくよ

風も冷えてきた午後五時過ぎ  
藍色の増した夕暮れの空  
ウインドブレーカーたなびかせ  
メットの下で泣き濡れてた  
俺が間違つてんのは知つてる  
けどヤツはホントに正しいのか?  
流す涙は泣いたからじゃない  
煙が目にしみていただけさ  
そーいや誰かが言つてたよな  
人は誰でも旅人なのさと  
自分の心口ずさみながら  
目指した物に巡り合うまで  
歩き続ける旅人なのさと  
歯を食い縛り汗水流し  
俺等は何を手にするんだろう  
どこまでも続く下り坂を  
ハンドル一杯握りしめて

俺そつくりの六等星が  
ちつぽけな幸せ歌つてる  
君そつくりの名もない星が  
ちつぽけな幸せ祈つてる

俺と一緒に旅に出ないか?  
君の小さな手を握るから  
どこまでも一緒に行こうよ  
このサカミチの向こうを目指して  
登り下りなんて関係ない  
ただ見る方向が違うだけ  
いつかはそう思えるんだろう

何だかそういう気がする

疲れ果てた旅の果てに  
俺等は何をするんだろう

晴れた空が涙するとき  
虹を架けることができたら  
それは君の青になるから

よく晴れた週末なのに  
君は浮かない顔をしてるね  
青い海はもう目の前なのに  
どこか遠くを見てるみたい  
心に溜まつた涙の雨は  
この波に流してもらおつ

次のカーブ切つたら      ほら

海はもうすぐそこだよ

M i   a r c o   i r i s

顔を上げろなんて言わないから  
前を見るだなんて言わないから  
だけど負けないで自分だけには  
逃げないで自分からは  
君は私を信じなくていい  
君は私から逃げてもいい  
でも君はもう一人じやないよ  
Y o   c r e e r   a h o r a

土砂降りの連休には  
てるてる坊主を吊るしておくよ

君の心が晴れるように  
新しい朝に日が昇るように  
胸に蓋した醜い感情は  
この雨で洗い流せばいい  
新しいカーテン開けたら ほら  
太陽が笑っているよ

M i a r c o i r i s

もう泣くななんて言わないから  
もっと笑えなんて言わないから  
だけど嘘つくな自分だけには  
嫌になるな自分からは  
君は私に嘘をついてもいい  
君は私を嫌いになつていいい  
でも未来は君を離さないよ

Y o c r e e r f u t u r o

夢や希望や星や綺麗なものほど  
虹のようにすぐ消えてしまうって  
教えてくれたのは君だったよね  
だから今度は私の番だよ  
晴れた空が涙するとき  
虹を架けることができたら  
それは君の青になるから

M i a r c o i r i s

顔を上げろなんて言わないから  
前を見るだなんて言わないから  
だけど負けないで自分だけには  
逃げないで自分からは

君は私を信じなくていい  
君は私から逃げてもいい  
でも君はもう一人じゃないよ

もう泣くななんて言わないから  
もつと笑えなんて言わないから  
だけど嘘つくな自分だけには

嫌になるな自分からは

君は私に嘘をついてもいい  
君は私を嫌いになつてい  
でも未来は君を離さないよ

このまま終わりはしないよ  
…信じてるから

## 聖なる夜のCECADA

今年もまたやつて来る

恋人たちの望むwhite Christmas

それでも季節外れの僕らは

アイノウタさえ歌えない

心も凍てつくような夜

贈る相手はいなけれど

今宵この羽震わせて

聖夜に奏でるmy last love song

涙こらえて耳を澄ませば

鐘の音が聞こえる…

W i s h   y o u   a   m e r r y   X - m a s

a n d   y o u r   f o r t u n e

灰色の空の下の

l o n e l y ,   h o l y   n i g h t

W i s h   y o u   a   m e r r y   X - m a s

a n d   y o u r   t o m o r r o w

君が望んだ雪なのに

今宵、僕の隣に誰もいない

サンタなんていやしないさと

囁いていたDecember days

短い春は冬に来るのだと

北風がそう僕に囁く

歳末までの2週間で

どれだけ歌を残せるだろう

今宵この羽震わせて

君達に贈るmy Christmas  
細い枝越しに空を見上げれば  
小雪が舞つている…

Wish you a merry Xmas

and your fortune  
and I'll be

憂いを忘れて過ごす

cold silent night

Wish you a merry Xmas  
and your tomorrow

寄り添い暖めあう季節に

今宵、僕は今日も一人きり

赤鼻のトナカイだけじゃなく  
聖夜のセミにも夢をください…

Wish you a merry Xmas  
and your fortune  
灰色の空の下の

lonely, holy night

Wish you a merry Xmas  
and your tomorrow

君が望んだ雪なのに  
今宵、僕の隣に誰もいない

Wish you a merry Xmas

and your fortune

憂いを忘れて過ごす

cold silent night

W i s h   y o u   a m e r r y   X -  
a n d   y o u r   t o m o r r o w  
m a s

寄り添い暖めあう季節に  
今宵、僕は今日も一人きり  
聖なる夜のcicadaにも  
愛をください

## 3日遅れのHappy Birthday

スケジュールのカレンダー場面

記念日登録　君の誕生日

とつぐに消したはずなのに

まだ残っていた

一度と搜すこともないと

思っていた君のメアド見つけ

白い画面ずっと眺めては

贈る言葉搜して

夢と現実の狭間に立つて

互いに意地を張っていたんだね

遠ざかる君の背中に

ヒグラシが哀しく鳴いていた

3日遅れのハッピーバースデー

君のいない9月の恋

二十歳になつた君

きっと綺麗だよ

このまま　long good-bye

誕生日祝う一通のメール

書いては消しての繰り返し

保存BOXにひとつだけ

誕生日おめでとうの文字

一度と会つこともないと  
別の道を歩み始めたいた

夏の終わりを告げるナデシコが

道端に咲いてたっけ

大人の仲間入りを果たして

新しい恋を探したつてい

描きかけの人生のデッサン

破り捨てることはない

3日遅れのハッピーバースデー

君のいない9月の朝

二十歳になつたとき

送れなくてゴメン

このまま LONG GOOD - BYE

3日置いた保存メール

ためらいながら眺めてる

言葉の裏の葛藤と未練

君に見透かされそうで

3日遅れのハッピーバースデー

親指一本の勇氣出して

二十歳になつた君に贈ろう

9月の My last mail

3日遅れのハッピーバースデー

返信なんてしなくていいよ

二十歳になつた君

一目見たいけど

今は LONG GOOD - BYE

## B・Jでプロシクdealer

手際よく手札切るんだね  
カーデ

その目付き 挑発してるの?  
伏せられた5枚のカード

勝負が始まる

これきりで終わらせはしない  
お前を逃がさない

21 ( twenty one ) のカードの中に  
ハートのA<sup>エース</sup>が見えるまで

絵札みたいなfaceやめなよdealer  
かお

隠しておる表情

お見通しなんだよ

イカサマなんて逃げ道は  
通用しない

どんな手段を使つたの?

最強の切り札 21のカード  
私の勝ちよ つて笑うんだね  
勝負はこれから

お前にだけは負けられない  
どこへも行かせない

スペードのJ<sup>ジャック</sup>  
スペードのA<sup>エース</sup>

わざと尖端で突きつけた

betなんかでごまかすなよdealer

賭けたのはそう お前なんだよ  
まだまだよ なんて言う間は  
折れやしない

何を喪うことを恐れているの  
それを俺に言い当てられた  
お前が自分捨てて逃げるなら  
出口塞いで追いつめてでも  
きっと勝利を捕まえに行く

勝負を途中で pass すんなよ dealer  
勝ち負けはもう決まつてんだよ  
不戦勝なんて勝ち方は  
性に合わない

so 濡く負けを認めなよ dealer

俺の勝ちは分かりきつてんだよ  
勝ち目のないような切り札も  
捨てやしない

## 君に乾杯 ↴ As time goes by

Here's to you.  
It's awful not to be loved.  
So we're not gonna be  
lonely anymore.  
As time goes by.

みんなからのリクエスト  
まだまだお待ちしています  
ここで次のお便りをご紹介  
P・N “キミにカンパイ”さん  
「今の歌にもありました  
どうして愛されないと  
辛いのでしょうか？」

“キミにカンパイ”さんへの  
アンサーソング  
こちらまでお送りください  
まあボクとして思うのは  
同じ歌の中に答えが隠されている  
そんな気がしてならないのですが  
探してみませんか？一緒に  
Here's to you.  
It's awful not to be loved.  
So we're not gonna be  
lonely anymore.

Ever, ever.

You can make of your self  
anything you want 'cause  
we're the people.

As time goes by.

少しはお役に立てましたか？

P.N.“キミにカンパイ”さん  
ここでアンサーソングが  
届いてますのでご紹介しますね  
「愛されないのは辛いコト

だからボクたちはもう

寂しくない

人は自分を好きなようにできる  
だって人間なんだから「

Here's to you.

It's awful not to be loved.

So we're not gonna be

lonely anymore.

Ever, ever.

You can make of your self  
anything you want 'cause  
we're the people.

As time goes by.

愛を探してボクらはすれ違い

その摩擦で胸が  
擦り切れそうになる

今は辛くともそのうち治りますよ

時の往くままに…君に乾杯

Here's to you.

be loved.

It's awful not to be

lonely anymore.

So we're not gonna be

lonely anymore.

Here's to you.

time goes by.

世界で一番辛いことを  
乗り始めたのだから

As time goes by.

"Here's to you again,  
see you again,  
"Here's to you".

GOOD DAY!!!

そうを毎日が

GOOD DAY!!!

春眠不覚暁（春眠暁を覚えず）  
雨の日曜ぬぐぬぐー一度寝

あと100分だけ：あと何時間？

目が覚めたら10時ジャストでした

W h c h i d o y o u l i k e  
c o o k i e o r c h o c o l a t e ?

どっちも大好き選べるもんか  
熱伝導なんてどうでもいいの

あつたかい紅茶があれば

幸せティータイム

授業じや教えてくれない

幸せの見つけ方だね

何と（710年）でつかい平城京より  
でつかい夢見て生きていこうよ

GOOD DAY!!!

諦めつてなに？

壁なんてぶち当たつて当たり前

辛 g o o d d a y もしんど g o o d  
ホラ、すぐそこに隠れてる

GOOD DAY!!!

d a y も

ダダダダーン！！な運命の出会い！？

恋はいつだって体力勝負

情報収集 ネットの恋占い

【手料理で彼のハートをGET】

彼とのどーでもいい時間も

私のでっかい夢のうち

絵に描いたような展開：

なんて言われたって平気

GOOD DAY!!!

引くつてどうこうこと？

障害があるほど燃えるものなのさ

悲しううだだやも寂しううだだやも

ホラ、キミの近くにいるよ

GOOD DAY!!!

幸せは追うもんぢゃない  
なんとなく傍にいてくれて  
そつと見守ってくれている  
そんなカンジです  
だ・か・ら

GOOD DAY!!!

ネガティブOFFモード

生きることだけ頑張るうぜ

未来が遠うgood dayも、ホラ

毎日がfresh good day

キミがいることが

嬉しいgood day!!!!

## おやすみなさい

永遠のものなんてないと  
分かつてたはずなのに  
いつもより静かな朝には  
まだ慣れないまま

2つ並んだペアのマグカップ  
君の脱け殻がまだ隣にいる  
忘れてくて

でも会いたいと願ってしまう

叶わぬ夢だと何百回

自分に言い聞かせても  
おやすみなさい

そう言われた夜は  
こんな日が訪れるなんてここに  
気づかないフリして

ただ目を閉じてた

今はもう聞こえない声

missin..

空の上は高すぎないか  
四角い写真の中の笑顔で  
君の欠片かけらを  
手放せないでいる  
僕を笑つてることだろう  
永久のものなど求めないで

そう聞こえる

君の事を忘れて今日を  
生きてゆけといふのか  
さよならを言つたために僕は  
君と出逢つたようなものなのに  
背を向けて見えないと  
黙々をこねてた  
まだ認められないま  
missing...

両手の指の間をすり抜けてゆくよ  
掬い上げた命でさえも  
水や砂が零れ落ちてゆくよ  
ただそれを見ているだけと  
自分の非力を嘆くしかないのか

キャンドルに灯した火が消える  
暗闇の中 寂しさだけが残つた  
手探りでもいい  
また明かりをつけよう  
だから今は君に一言  
good night...

## 雪那セツナ

灰色の街を白く染めるため  
今年もまた雪が降り始める  
コートの肩にふわりと乗つた  
結晶が溶けて消えていった  
元気でいますか

そちらもいま雪ですか  
細雪の舞う空の上から  
届かない声で君に叫ぶ  
きっと君は生きてゆくんだよ  
神様がくれた時の許す限り  
空で生まれて地上で消える  
雪のように儚い命でも  
君はここで何かを見つけて

町中に雪が降り積もるようだ  
私の心に哀しみが募る  
粉雪が手のひらで溶けるように  
私の想いも消えていくの  
忘れていませんか  
憶えていてくれますか  
もうすぐ去り行く雲の上から  
刹那の祈りを君に願う  
きっと君は幸せになれるよ  
神様がくれた縁の続く限り

永遠のものなんて信じない

君はそう言つに決まつてゐるけど

私はここで君を見守るよ

空をいま見ですか  
もつすぐ雪がやみます

灰色の街 倦む君に

刹那的に叫ぶこの声 届け

きっと私飛んでいけるよ

この背中には翼が生えている  
君がひとりで泣いているとき  
いらないとそうたとえ言われても  
ずっと傍にいるよ

…君の

何を求めているの

迷い子のように花から花へ  
美しい羽ヒラヒラさせて  
僕のもとへは来ないのに…  
誰を待つているの

同じ場所にずっと咲き続けて  
全てをさらけ出すようにして

私だけは拒むくせに…

ねえ…少し休みみなよ

その脆い羽を僕にあずけてさ  
ねえ…少し休ませて

その薄い花弁に羽を預けていい?

それとも

自分じゃダメなの?

あなたは知っているでしょうか  
僕が私があなたを求めていること  
でも美しいその姿見えてると

躊躇つてしまふ

その美しい花弁は  
一時のものなのね  
知っているからこそ近づけない  
とまつたら散つてしまいそうで…

その美しい羽は

一時のものなんだね

知っているからこそ触れられない

触れたら逃げていきそうで…

ねえ…とまつてもいいの？

私の過去を知っていても

ねえ…近くにいてくれる？

僕の短い時間に気づいても

本当に

自分でいいの？

あなたは知っているでしょうか

私が僕がどれほど弱いかを

でもあなたとならどんなことでも

乗り越えられる

ねえ…僕を許して

脆い羽を手放してしまう弱さ

ねえ…私を許して

薄い花弁から飛び立つ勝手を

それでも

それでも

待つている

帰つてくる

あなたを信じて

あなたは知っているでしょ？

この先に待つ幾多の困難を

でも一人一緒にいられたらきっと

平気…だよ

## モノクロームにカラー

ヘッドライトに映し出された

ふたつの影法師

外側線の内側

くつついて歩いたよね

凍えた手 あなたが

手袋の片方かしてくれて

ありがとうって言つたら

あなた照れ笑いしてた

ケンカしたし

酷いことといっぱい言われたけど

それは全部

あたしのためにくれたコトバ

あの日まつ白だつたキャンバスに

あなたが色をのせてくれたから

いまあたしはあなたの隣で笑つていられるんだよ

あなたに出逢えて

ホントよかつたよ

あなたがあたしに

教えてくれたから

あなたのおつきな手に

あたしの手を重ねてみた

手のひらで奪われてゆく

あなたの温もり

ずっと感じていたくて

そつと手を握つた

ワガママだし

意地悪されて嫌いだつたけど

それは不器用なあなたの

精一杯の愛情

あの日モノクロームだつた景色に

あなたが絵の具つけてから

いま夜道の街灯の白さも

見えるようになつたんだよ

あなたに出逢えて

嬉しかつたよ

あなたがあたしに

教えてくれたから

：だいすき

あの日

モノクロームしか知らなくて

あなたが乱暴に色をのせたから

いま目の前に広がる景色

カラフルになつたんだよ

あなたに出逢えて

ホントよかつたよ

あなたに出逢えて

嬉しかつたよ

あなたがあたしに

教えてくれたから

：だいすき

## 変わらないで

いつかは散ると分かつていて  
花は毎年咲き誇る  
いつか別れると知つていて  
あの日僕らは目を合わす  
それから共に泣き笑い  
肩を抱いては傷つけて  
君と交わしたこの友情  
本物だったと今さら思う  
時は止まることを知らず  
確実に来て  
季節は僕らを急かすように  
移り変わる  
サヨナラを口にできず  
ずっとはしゃいでいた  
だから今ちゃんと言うよ  
いつまでもそのままの君で  
変わらないで 変わらないで  
変わらないで いつまでも  
変わらないで 変わらないで  
素敵な君の今まで

僕らはいずれ大人になり  
時代の波に揉まれながら  
ささやかだけど確かな幸せ

手に入れるため頑張るんださう

もう僕たちは自分の足で  
しつかり前を見つめながら  
歩くことができるのだから  
与えられた幸せは

桜のように優しく散つて  
手に入れたい幸せは

花びらのように掴みにいく

それでも僕らは

幸せを探しに旅立つんだ  
だから今ちゃんと言うよ  
いつまでも大きな夢を持って  
変わらないで 変わらないで  
変わらないで いつまでも  
変わらないで 変わらないで  
無邪気な君のままで

この何千億の時の中で  
巡り会えた奇跡

この何十億の人の中で  
巡り会った運命

僕らは今別々のゴールに  
向かおうとしている

だから今ちゃんと言うよ  
いつまでも僕を忘れないで  
変わらないで 変わらないで  
変わらないで いつまでも  
変わらないで 変わらないで  
素敵な笑顔で

変わんないで  
変わんないで  
変わんないで  
いつまでも  
いつかまた  
この場所に

## 愛しのダメダメ my darling

友達に紹介するのも躊躇つ  
私のダメダメ彼氏サマ  
マントつけたって空も飛べない  
眼鏡は正体隠すためじゃない  
ピンチに陥つて送ったメール  
HELP! 送信  
それから2時間後  
気づかなかつたよ  
ゴメンナサイ つて  
危機一髪も救えないのかつ!  
He's not hero.  
分かつちゃいるんだけど  
He's not knight.  
寄り掛かりたい時だつてあるのよ  
変身なんて出来なくともいいの  
私を受け止めてさえくれれば  
どうしてこんな男に  
惚れちゃつたりしたんだろう  
春のせいかな  
そんなんあなたに1つお願ひ  
メールは“だよ”とか  
文字を小さくしないでね  
スーパー・マンになれそうもない

愛しのダメダメ彼氏サマ  
ビール1杯ですぐ寝ちゃう  
車に乗つたらすぐ事故る  
待ち合わせ時間 10分経過  
来ない来ない来ない

それから30分後

寝坊しちゃつてさ

ゴメンナサイ つて

期待どおりに現れないのかつ！

H e ' s n o t w i z a r d .

そんなこと知つてるけど

H e ' s n o t g o d .

淋しそぎるときだつてあるのよ  
魔法なんて使えなくともいいの

私を傍にいさせてくれば

どうしてこんな男を

好きになつたりしたんだろう

誰の仕業かな

そななあなたに1つお願ひ

デートの勝負服

ちょっとは流行取り入れてね

どうしてこんな奴を

愛しく想つちやつたんだろう

仕方ないかな

そななあなたに1つお願ひ

プロポーズくらは

絶対あなたからしてね

## 君はショヘラザード

月が消える 黒い空に  
風に散つていった花びら  
紅いルージュつけた君が  
ネオンの中に溶けていく  
誰のために 何のために  
金と欲望の檻の中  
グラスに映る君の瞳  
どこか遠くを見ている  
涙見せてもいいよ  
また声が出るまで  
君はシェヘラザード  
弦の切れたりユート  
歌を忘れた夜の小鳥  
今夜俺が歌を奏でる  
コンソラメンテ  
できれば 君から欲しい  
湖うみが蒼い 白い砂漠に  
誘蛾灯ようがれとうというオアシス  
飛んで灯に入る虫たちが  
水の中に溺れて  
千と一の夜の人生はなし  
語ることはできない  
トウルバドゥール 渡り鳥の

俺が言えたことじゃないけど

今夜は眠つてもいいよ

俺が代わつてやるから

君はシェヘラザード

偽りの貴女きじょ

着飾られた夜の人形

次の話うた できあがるまで

ずっとここで詩うたを歌う

君はシェヘラザード

弦の切れたりユート

歌を忘れた夜の小鳥

今夜俺が歌うたを奏でる

コンソラメンテ

できれば、君から欲しい

## 硝子のカケラ

目の前に現れた旅人  
傷だらけで血まみれの手  
ぼんやりとカケラを見るその目  
涙を張った左のブルー  
悲哀宿す右のグレーに  
映し出される色硝子の破片

あの人訊いてみた  
どうして君の手は  
そんなに傷だらけなの  
あの人答えた  
コレを拾ううちに  
自然に出来てたんだよ  
手にとつて見せてくれた  
極彩色の硝子片  
そしてふと気付いた  
カケラは忘れられた夢や  
思いでの残骸なんだ  
この世に生まれてきた  
それだけで良かつたはずだ  
望むものなど無かつたはずなのに  
これ以上を求めてしまう  
時代の流れに逆らえず  
欲に溺れる自分を笑つてくれよ

その人にまた訊いた

カケラを集めて

それからどうするつもりなの

その人は苦笑つて

答えてくれなかつた

けどそれが答えだつた

カケラ組み合わせたら

一体なにが出来るんだろう

それを叩きつけて粉々に碎いた

自分が思うのも変な話だけど

生きることを許された

喜ぶべきことだつたはずだ

感謝すべきだつたはずなのに

助かりたいと願つてしまつ

環境にすべて押し付けて

動けもしない自分を笑つてくれよ

悲劇の一人舞台

すべてが自作自演の

ステージで何を演じてやろう

誰もいない観客席

早くカケラを集めて

自分の手で幕を下ろさせてくれよ

真っ白なドレスに身を包み  
先で待つてゐるあいつのもとへ  
ウェディングマーチ鳴り響く中  
歩く今の君 とてもキレイだ  
長いベールが尾を引いて  
僕の隣を通り過ぎてく  
もうすぐ君はあいつと一緒に  
永遠の愛を誓うんだね  
新郎新婦なんて響きに  
実感なんて持てないよ  
言つつもりなんてないけれど  
まだ君のことが好きだから  
モナミ 僕の大切な友達  
好きな人は誰? つて  
訊かれたあのとき  
正直に言つておけばよかつた  
おめでとう 幸せになれよ

宙に舞うキヤスケードブーケ  
女の子たちが皆狙つてゐる  
僕もあれを手に入れられたら  
君をあいつから取り戻せるかな  
フランダよ そう不意に言わされて  
運命の相手は目の前にいるよ

冗談で言つたら笑つてくれたね

でもあれ 半分本気だつたんだ

白馬に乗つた王子様を

ずっと夢見てた君がまさか

神様の見守る前であいつと

キスするとは思わなかつた

モナミ 僕の大切な友達

運命の人や赤い糸を信じてたのは

僕の方かもしけないな

おめでとう 幸せになれよ

僕の弱さは優しさだから

これ以上残酷な嘘はないよ

好きだと伝えて君とあいつと

今ある3人の間の幸せ

失うことだけが怖かつた

モナミ 僕の大切な友達

教会から君を連れ去るなんて

僕には出来やしないさ

好きだから絶対に教えてやらない

今の僕の気持ちを

モナミ 僕の大切な友達

王子様が迎えに来たよ

ちょっと悔しいけど

あいつだからきっと許せるんだ

幸せになりな dear my friends

## ありがとう

いま君に何を何回くらべ  
言つたらいいんだろう  
ありがとう ありがとう  
何万回言つても足りないよ  
自分の持つてる一番古い記憶は  
おばあちゃんが死んだときで  
それから自分の周りで何かが  
少しずつ欠けていったんだ  
引っ越していつた幼馴染み  
10年間一緒だったペット  
不合格だった第一志望校  
なくしてばっかだと思つてた  
だけど違つたんだね 本当は  
いつでもどこでも  
どんなときも傍にいてくれて  
淋しさ慰めてくれてたんだ  
ありがとう  
ありがとう  
ありがとう my friends

いま君に何をしてあげたら  
喜んでくれるんだろう  
あれもして これもして  
何やつても返しきれないよ

どうせなくすしかないのだから  
ひとりでもいいと強がっていた  
そしたら自分はいつの間にか  
本当にひとりになつてたんだ  
友達 なんて一時のもので  
就職や結婚とかしたら  
自分の優先順位 下がつて  
忘れられると思ってた  
だけど違つたんだね 本当は  
いつでもどこでも  
どんなときも君は自分の  
友達でいてくれると言つた  
ありがとう  
ありがとう

ありがとう my friends

置いていかれるのが怖いから  
ずっと先ばかり見て走つてた  
でも だんだん距離は遠くなつて  
もう届かないと思ってた  
だけど違つたんだね 本当は  
立ち止まって周りを見てみたら  
追いかけてくれて  
ついてきてくれてたんだ  
ありがとう  
ありがとう  
ありがとう

ありがとう my friends

愛される努力じゃなくて  
愛する努力をしてみるよ

ありがとう  
ありがとう  
ありがとう  
my  
friends

## 両親への手紙

お父さん お母さん

今までありがとうございました  
これからふたりを見習い  
幸せな家庭を築いていきます  
ツクツクボウシが鳴く頃  
生まれたと聞きました  
礼儀正しい子になれと  
名付けられたと知りました  
名前負けと言われ続け  
重荷に感じたこともあったけど  
今ではふたりに感謝します  
ふたりの愛情に気付いたから  
私は少しでもふたりの  
理想の子供になれたでしょうか  
あなたのため その言葉が  
エゴに感じたこともあります  
これからは愛という名の  
プレッシャーに負けないで  
生きていきたいと思います

実は私ふたりに

秘密にしてたことがあります  
お母さんのドレッサーの中  
母子手帳を見つけました

生まれた時間 体重

その後の成長の課程

細かく書かれていることに

とても驚きました

どちらに似てるとも言われず

不安を感じたけど

今では心から信じてます

確かにふたりの子供だと

私は少しでもふたりの

期待に応えられたでしょ？

か

共働き という言い訳で

愛されてないと誤解してました

これからは孤独という名の

被害妄想に打ち勝つて

生きていきたいと思います

思春期 大人になりかけて  
自分から距離を置きました  
自分から溝を作つておいて  
勝手なことばかり言つてました  
でも本当は憶えています

私が迷子になつたとき

お父さんお母さんと泣き叫んだら  
すぐにふたりが駆けつけて

来てくれた日のことを

私は少しでもふたりの  
心の支えになれたでしょうか  
ふたりの本当のありがたみは  
私が親になって

初めて分かることでしじうが  
これからは大切な人と  
生きていきたいと思ひます

お父さん お母さん この春  
ふたりの孫が生まれます  
ふたりのくれた愛情  
この子の名前にします

## 僕の翼を君にあげよう

僕の翼を君にあげよう  
こんななんじや青い空は  
翔べないかもしれないけど

君はこの世に必要だから  
要らない僕の翼をあげる  
人の背負うべき罪を全部  
自分ひとりで抱えるのなら  
君はとても優しくて  
素晴らしいすぎるだから  
ごめんね 君を裏切らせて?

これしか方法がないんだ  
全ては神の思し召し  
バイブル  
聖書ゴスペルに記された

福音

どおり

君が役目を果たすならば  
僕は僕の役目を果たすよ  
僕の翼を君にあげよう

君の望むような

まつ白い羽根じゃないけど  
空を飛んでよ 皆のためにも  
こんななんじや青い空は  
翔べないかもしれないけど

僕は君の仲間みたいに

馬鹿正直になりきれないから

君と僕との切れない関係

いつしか気付いてしまったんだ  
君は皆の偶像アイドルとして

愛されるべき人だから

J U D A S（裏切り者）と

言われてもいい

それが僕の役目ならば

その昔 僕らの父と母が

禁忌を侵したその償いを

君が果たすと決めたのならば

僕も自分の宿命を果たすよ

僕の翼を君にあげよう

痛々しいそんな姿

ずっと見ていたくない

復活してよ 皆のためにも

こんななんじや 晴れた空へ

昇れないかもしないけど

僕は鏡に映る君の影

君にとてもよく似た

正反対の存在だけど

僕の翼を君にあげよう

君がイバラの冠ならば

僕はセイヨウハナズオウの下

口づけさせて 僕のためにも

こんなんじや 青い空は

翔べないかもしないけど

愛する人よ世界を救えっ！！

愛する人よ世界を救え！！

無理だよなんて言うのならboy

私が変えてあ・げ・る

清く正しく美しく

野心だけ胸に秘めて

絶対無敵の恋する気持<sup>パワー</sup>

あの人を知つてから私  
強くなれた気がするの

今日は彼との祝 初デート

何を着ていけばいいの（？ー？）

カワイイ系とキレイ系

どっちのが好みかしら

セクシー系とか言われちゃつたら  
ちょっと修行が必要だな（：ー：）

私をこんなに変えたのだから  
この世界だつて変えられるはずよ

愛する人よ世界を救え！！

電話でもOK メールでもOK

そつちから告つてよboy

左耳にしたピアス

あなたのマネしたの

：なんて言えないわ（<ー>）

無理だよなんて言つのならboy

私が変えてあ・げ・る

清く正しく美しく

野心だけ胸に秘めて

絶対無敵の恋する気持<sup>パワー</sup>

クラシカルな服を着て

ミユージカルでも見に行つて

オシャレなcafeでホッと一息

そんなdateしてみたいわ(^-^)-

クリスマスやバースデー

プレゼント交換して

別れ際にそつと『ちゅっ』して

そんな風になりたいわ(///)

恋に恋する乙女の心を

ここまで本気にさせたのだから

愛する人よ世界を救え!!

カラオケでもbarでもOK

2人きりにしてboy

デートの帰りにさりげなく

あなたが好き

:なんて言えないわ(＜\_＞)

無理だよなんて言うのならboy

私が変えてあ・げ・る

清く正しく美しく

野心だけ胸に秘めて

絶対無敵の恋する気持<sup>パワー</sup>

愛する人よ世界を救え!!

涙ぽとり落ちた日に  
飛び込んできた空の蒼  
灼熱の砂漠に影ひとつ  
過ぎ行くは誰の面影  
恋しいという切なる願いは  
旅人の落とした時の砂  
弱い今までいい強くなれ  
自分の足で歩けるように  
天空に広がるその蒼を  
お前のものにするために

身体の中あたたかい」と  
訴えてくる吐息の白  
凍える空に銀の星  
輝くは誰の面影  
逢いたいという切なる祈りは  
詩人の遺した言の葉  
届かなくていい手を伸ばせ  
いつかその手で掴めるように  
夜空に散らばるあの星を  
お前のものにするために  
弱い今までいい強くなれ  
自分の足で歩けるように

天空に広がるその蒼を  
お前のものにするために  
交互に顔を出す太陽と月  
お前のその手で受け止めるために

十三夜

其が心は 十三夜の月

其が悲哀は かかる叢雲

其が涙は 恵みの雨

其が言葉は 花揺らす風

月の満ち欠けは

盛者必衰の理

潮の満ちたるとき

あとは引くのみを知る

人生は遙かなる旅路

されど汝 旅人に非ず

天津彼方 導きし門

今まさに 開きけり

曇りなき十三夜

ただ愛しの汝を待つ

水面に映りし 月は夢幻

望月にかかりし 雲は現

花弁散らせし 風は試練

眼に浮かぶ 雨はいずこ

潮の満ち引きは

諸行無常の響き

月の欠けゆくとき

春の夜の夢と知る

生きたいと叫ぶ

魂の声は

風の前の塵に同じ

永き旅の終わりし其のとき

汝何を悔やみ思わん

曇りなき十三夜

愛しの汝を待つ

# Inspiration Perspiration

あとどのくらい頑張ればいい  
忙しい日々 目眩おこしそう  
フラフラになる まだ足りないの  
何をどうすりや気が済むんだい  
昔ある偉い人が言つてた

99%の perspirationで  
1%の inspiration 補える  
何を根拠にそう言えるんだ  
乾いたカラダに水をくれよ  
乾いたココロに愛をくれよ  
ほんの少し休めたなら  
温めたベンチ

そろそろ立ち上がろう  
そして人は言つ  
「ガンバレよ」

まだ頑張れる そう人は言つ  
そんな理由がどこから出てくる  
立ち止まるなと誰かが言つた  
そんな都合はないだろうに  
昔の偉い人は知つていたのか  
1%の inspiration 無かつたら  
99%の perspiration 全部  
どうしようもない

意味がないだろ

疲れたカラダを癒してくれよ  
疲れたココロを癒してくれよ  
ほんの少し安らげたら

新品同様のグローブをとろう  
そして人は言う

「負けるなよ」

頑張る必要などはない  
勝つ必要などありやしない

分かっているのに立ち止まれない  
数字ばかりに気をとられて

GAMEを楽しめない…悲哀…

乾いたカラダに水をくれよ  
乾いたココロに愛をくれよ

ほんの少し休めたなら

温めたベンチ

そろそろ立ち上がるう

そして人は言う

「ガンバレよ」

疲れたカラダを癒してくれよ  
疲れたココロを癒してくれよ

ほんの少し安らげたら

新品同様のグローブをとろう

そして人は言う

「負けるなよ」

だから俺は言う

“No pains, no gains?”

No! ”

## ハッピーバースデー

どうしたら… ずっと答え搜して  
フラフラな足取り見ながら歩いた  
自分の人生自信なんてないけど  
間違った人生選んだわけじゃない  
愛が生み希望が育てた生命

満面の笑顔で問われた使命

いつか大人にならなきゃいけねえ  
素敵な夢全部叶えてもらいてえ  
いつの間にか大人になってた  
急いで次の場所に駆けてた  
空を見る事もできなかつた  
だけど やつと見つけた  
生まれてくれたことに  
今まで生きてくれたことに  
ケーキのローソク増えたことに  
素直に言おう

「おめでとう」の言葉を

この世に生んでくれたことに  
ここまで育ててくれたことに  
今まで生きてこれたことに  
照れながら言つ

「ありがとう」の言葉を

Happy birthday to me.

to you.

幼いあの日 曇りのない目で  
明るく笑っていたんだろうか  
一番古いアルバム中に  
夢に溢れた一枚の写真  
自分で中で膨らんでもく愛  
誰かに与えるべきそれに気付き  
自分の持つてたバトンをバスし  
そして次に繋げた  
生まれてくれたことに  
今まで生きてくれたことに  
ケーキのローソク増えたことに  
素直に言おう  
「おめでとう」の言葉を  
この世に生んでくれたことに  
ここまで育てくれたことに  
今まで生きてこれたことに  
照れながら言ひ  
「ありがとう」の言葉を

Happy birthday to you .  
Happy birthday to me .  
Happy birthday to you .  
Happy birthday to me .  
Happy birthday to you .  
Happy birthday to me .  
Happy birthday to you .  
Happy birthday to me .

Happy birthday to me .

## 袋綴じの過去を

切り裂いてくれ  
君の手で  
この袋綴じの過去を  
ためらわないので  
頼むから  
この哀しみを  
消し去ってくれ  
知られたくない  
知られてはならない  
穢れた歴史の1頁ページ  
血と汗と涙で汚れた1コマ  
綺麗に彩られたグラビアの中  
嗚呼、なぜこの重い記憶を  
ひとり背負うんだろう  
嗚呼、どうしても門外不出  
そんな過去に押し潰されそう  
もう破つてくれ  
捨ててくれ  
この偽られた筋書きを  
迷うことない  
さあ早く  
この罪深さを  
永久に消してくれ

見られたくない

見られてはならない

隠したい歴史の見開き頁ページ

正義と悪の利己的感覚の対立

戦災う人の蝉時雨の裏に

嗚呼、なぜこんなにも

惨い責務があるのだろう

嗚呼、絶対的な秘密主義者

そんな奴等に神よ、制裁を与えよ

切り裂いてくれ

君の手で

この袋綴じの過去を

ためらわないで

頼むから

この哀しみを

消し去ってくれ

胸の奥がまだいたい

傷が塞がつていないので

身体が千切れそうな

この痛み

なんとかしてくれ

アタマ割れそうだ

君の手で

さあ早く

もう破つてくれ

捨ててくれ

この偽られた筋書きを

迷うことはない

さあ早く

この罪深さを

永久に消してくれ

切り裂いてくれ

君の手で

この袋綴じの過去を

ためらわないで

頼むから

この哀しみを

消し去ってくれ

偽りの筋書き

君の手で

袋綴じの過去を  
永久に葬ってくれ

## ホーリまみれの愛で

きみとふたり

どこか遠くへ行くとしたら  
軽く捨てられる

そんな何かがあるだろうか

On your mark! Get set! Go!

繰り出そうか 土曜の街へ  
ネオン街に 君をさらつて

涙の理由聞かせてくれよ

Never say die.

We'll get along.

隠してきたこと

責めたりしないよ

You know I love you.

見せたくない そんな汚れも

全部 受け止めるから

I need you.

ホコリまみれの愛で

Love me do.

すべて包み込むよ

目に映るものがいつも

幸福に満ちて

いたらしいのに…

'cause I hope for the world  
living with you.

泣き止んだら

少しばかりの崩れた笑み

忘れはしない

心のしおり そつとはさんで

R e m e m b e r , t o d a y' s t h i n g s .

世界中が こんな夜でも

涙でみな 濡れているよ

君を連れて どこまでも行こう

I c a n' t f o r g e t y o u f o r e v e r .

壊れやすいもの

大切なものは

I ' l l a l w a y s b e t r u e .

守らなければなくしてしまふと

いまさら気付いたから

I w a n t y o u .

ホコリまみれの愛で

L o v e m e d o .

すべて受け止めるよ

聞こえてくるものがいつも

幸福に満ちて

いたらしいのに…

' c a u s e I h o p e f o r t h e w o r l d  
l i v i n g w i t h y o u .

I l o v e y o u .

ホコリまみれの愛で

L o v e m e d o .

すべて忘れはしない

たつたひとつのみの真実が

幸福に満ちて  
いたらいいのに。  
'cause I  
living with hope  
with you for the  
world

フューチャーフライト

いくつの海を

声援を送る  
エール

波の音を聞いて  
みちしるべ

標識もない  
この空路で

眺めてる

海から海へと  
航つていいくほどに

第十一回

海は必ず

そんな言葉が聞こえる

惊いていてくれ

空は飛べるはずだ

このページを

渡つていいくのだろう

雲を抜け

暗雲すらも立ち込む  
この空みち路で

見えてこないゴールだけ  
目指してゐる

吹き荒れる風を  
越えていく度に

少しずつ楽に  
なつた気がする

空は必ず

どこまでも続いてる  
そんな言葉が聞こえる

憶えていてくれ  
翼が折れていっても

空は飛べるはずだ

そしてヒロー・キ雲で  
未来を描こう  
プロペラも翼も  
壊れてしまつたけど  
でもきっと  
動かしてみせるよ

海は必ず

どこまでも続いてる  
そんな言葉が聞こえる  
憶えていてくれ  
プロペラが壊れても  
空は飛べるはずだ

空は必ず

どこまでも続いている

そんな言葉が聞こえる

憶えていてくれ

翼が折れていても

空は飛べるはずさ

海を航るための

空を越えるための

世界地図を手に

いれたのだから

空は飛べるはず

明日は見えるはずさ

道は必ず

どこかに続いている

そんな声援エールが聞こえる

忘れないでくれ

明日が見えなくても

空は飛べるはずさ

憶えていてくれ

明日が見えなくとも

空は飛べるはずさ

## アソビじゃない

…アソビじゃない

薔薇は深く赤く咲き

董は青く可憐に花開く

君は何色に染まってみたい

砂糖菓子のように甘く…？

It's a serious.

All is fair in love and war.

春は曙 山際は白く

黄昏の空は金色に染まる

さあ答えを聞かせてほしい

君はどんな色になりたい？

It's a serious.

All is fair in love and war.

野郎共とツルんでいても

オンナ交えて遊んでも

君の影がチラチラする

うざつたいね

でもきっと、これは…

It's a serious.

All is fair in love and war.

It's a serious.

He laughs best

who laughs last.

It's a serious.  
Nothing succeeds  
like success.  
It's a serious.  
⋮ アソビじゃない

春風は野原の中に

シトローンを揺らす初夏の風  
君はどんな風になりたい  
刺激物のように辛く…？

It's a serious.

First catch

your here.

秋の風に落葉が舞う

吹雪呼び込む冬の北風  
さあ答えを聞かせてほしい  
君はどこまで流されたい？

It's a serious.

First catch

your here.

恋とかそんななんじゃなくって  
愛とかそんなでもなくって  
でも友達以上の感情

マジなのかもね

たぶんきっと、そうだ…

It's a serious.

First catch your here.

It's a serious.

Second thoughts are best.

It's a serious.

Slow but steady wins the race.

It's a serious.

It's a serious.

…アソビじゃない

It's a serious.  
…アソビじゃない

## 青い風にのつて

青い風にのつて  
窓辺から飛び立つよ  
明日を信じて生きていきたい

落書きだらけの教科書に  
やりたいことがいっぱい  
印刷された数式より

大切なこと

君が君でいるための  
公式がそこに書かれてる  
君しか当てはまりはしない

未知数の記号

駆け出したそのあと  
幸せがついてくる  
夢を捨てずに突き進め  
どこまでも

青い風にのつて

生きてゆければいい

君は君のまま

自分のペースで

青い風にのつて

突き進めどこまでも

夢だけを信じて

生きていきたい

晴れた空を見上げては  
手すりにその身任せで  
自由に飛んでく鳥たちを  
見送り苦笑う わら  
誰かが微笑みながら  
ずっとこっちを見つめている

何か求めて

運命知つてから

飛べることに気づいた  
背中の脆い羽根いま広げ  
飛び立つよ

青い風にのつて  
夢を信じればいい  
いたいけ 幼気なその日は  
あの日もう消えたさ  
青い風にのつて  
窓辺から飛び立つよ  
明日を信じて  
生きていきたい

悲しみ芽生えたら  
この大空を抱いて  
思い出巻き込んで輝くよ  
誰より

青い風にのつて  
生きてゆければいい  
君は君のまま

自分のペースで  
青い風にのつて  
突き進めどこまでも  
夢だけ信じて  
生きていきたい

青い風にのつて  
夢を信じればいい  
いたいけ  
幼気なその目は  
あの日もう消えたさ  
青い風にのつて  
窓辺から飛び立つよ  
明日を信じて  
生きていきたい

生きていきたい

## ひび割れたミラー

ひび割れたミラーが  
引し出す幻に  
トリガーを引けば未来は変わる  
世界はデコボコで  
成り立つてるんだよ  
山を切り谷を埋めれば  
平らになるけどね  
この世を均してみるかい?  
できるわけがない  
だってそんな平坦な世界で  
生きるのはつまらないだろ?つ  
この世は完全じゃないとか  
不完全でなりたつてるとか  
説教じみたこと言う前にさ  
このひび割れた鏡を  
覗いてごらんよ  
そこに映るじぶんでさえ  
歪んで見えるじゃないか  
君もその住人なんだよ  
wake up, kid.  
目をさませよ

ミラーが映し出す幻に  
トリガーを引いてみな  
チグハグな住みにくい世界

一瞬で消え失せるよ

人間は道具と同じで

不良品のレッテル貼られたら  
矯正されるか破棄されるか

そのどつちかしか道はない

この世を造り直してみるかい?

できるわけがない

自分より粗悪な奴がいなけりや  
お前は誰に買われるつもりだ

すべてでは考え方次第とか

見る角度を変えてみるとか

説教じみたこと言つ前にさ

粉碎されたミラーを

お前の手で直してみるよ

血まみれになる

覚悟があるならな

wake up , kid .

田をさせよ

洗面台の鏡の前に立つて

軽く笑顔でも作ってみるよ

薄暗い洗面所の中で

そこに何が映つてる

そこに誰が映つてる

この世は完全じゃないとか

不完全でなりたつてるとか

説教じみたこと言つ前にさ

このひび割れた鏡を

覗いてごらんよ

そこに映るじぶんでさえ  
歪んで見えるじゃないか  
君もそここの住人なんだよ  
wake up , kid .  
目をさませよ

すべては考え方次第とか  
見る角度を変えてみるとか  
説教じみたこと言う前にさ  
粉碎されたミラーを  
お前の手で直してみるよ  
血まみれになる  
覚悟があるならな  
wake up , kid .  
目をさませよ

顔を洗つてからもう一度  
ひび割れた鏡覗いてみるよ  
wake up , kid .  
目をさませよ

## ウソならkissはよして

ウソならkissはよして  
どうせならちやんとして

知ってるのよ

あなたの本音

ウソならkissはよして

あなたの胸の中に

他の女性がいること

知ってるのよ

あなたの腕枕で

寝たフリしてるとき

あなたはわたしを見守りながら

あの女性を見ていたわ

Ah - 出来心の浮氣なら

許してあげるといったわ

Ah - でも本気になること

許したわけじゃないのよ

ウソならkissはよして

瞳を閉じないで

本音を

隠すなんてズルイわ

ウソならkissはよして

その女性としてきて

男性は

オトコ

は

あなただけじゃないのよ

メール覗いたことないし  
現場見たわけじゃないけど  
わたしには何となく分かるのよ  
女のカンつてやつかしら

A h - 愛してると言つから  
それ以上に愛したわ

A h - でも今のあなた

別の女性を愛してる

ウソならkissはよして  
少しはわたしを見て  
本心知りたくなかつたわ  
ウソならkissはよして  
わたしさはあなたの家政婦になつたわけじゃないのよ

A h - 人の心は

鎖で繋いでおけないのね

A h - もうあなたには

甘えたりはしない

ウソならkissはよして  
どうせならちゃんとして

知つてるのよ

あなたの本音

ウソならkissはよして

あなたの胸の中に

他の女性がいること

知つてるのよ

ウソなうりักษはよして  
優しく抱きしめないで  
愛してゐるから憎いのよ  
ウソなうりักษはよして  
サヨナラを言わせて  
Y o u l o v e m e ?  
嘘に決まつてゐわ  
オトコ  
男性は  
あなただけじゃないのよ

## さよならスケッチ

雨のロータリー 横断歩道  
行き交う人の中 ふと立ち止まる  
視界をかすつたトレンチコート  
指にシルバーのリングを探した  
あの日描いたさよならスケッチ  
ミュージアム  
心の美術館に

また見に来てるよ  
この雨の中を君も  
歩いているのかな  
さよならの「画」はどれも  
雨が降ってる

雨の横断歩道

ゼブラン

交差点の中心

立ち止まる僕をよける傘の群れ  
灰色の風景をカラフルに染めた  
君の真っ赤な傘どこにも見えない  
描いては破つたさよならスケッチ  
ミュージアム

美術館に飾り

何度も眺めてる

この雨の中で君は  
誰と歩いているのかな  
さよならの「画」はどれも

まだ描きかけのまま

ああ 雨がやんできたね  
ひとつひとつ傘が消えていく  
ああ 灰色の雲の切れ間から  
光が差し込んできたよ

美術館ミュージアムに

飾つてあるよならスケッチの  
一枚に青空が見え始めたよ  
やつとね

愛することを怖がらないで  
愛されることから逃げないで  
決して迷子にさせたりしないから  
僕と一緒に帰ろう

体に刻み込まれてる  
烙印を気にしてるんだね  
抱き締めてくれる人はいないから  
ひとりでもいいと強がっている  
太陽の下から追放されて  
夜の闇へと羽ばたく夜鷹  
ひとりが楽なんて言わないで  
近づく誰かを恐れたりしないで  
決して手を離したりしないから  
日の下に帰ろう

大通りで子供が泣いている  
誰かを求めて泣いている  
近づく心とは裏腹に  
君は近付けないでいる  
あの子が欲しいのは  
自分じゃないからと  
悲しい笑顔で羽ばたいた鶲  
愛することを怖がらないで  
愛されることから逃げないで

決して迷子にさせたりしないから  
僕と一緒に帰るつ

ひとりが楽なんて言わないで  
近づく誰かを恐れたりしないで  
決して手を離したりしないから  
日の下に帰るつ

田舎まじの中へ羽ばたこう

強がることに疲れて  
弱くなつてたわたし  
何かにずっと怯えて  
屋上の隅 震えた  
傷ついた背中の羽根  
つめたい手で温めて  
夜空の下で決めたの  
もう迷わないと

残酷な現実だけをただ信じて  
甘い夢からは目を背けていた  
夜は必ず明けると知つたから  
本当に強くなるため

羽ばたくよ 世界へ  
天使の仮面をかぶつた  
悪魔たちが喚んでいる  
無垢な少年少女たちを  
お願い 騙されないで  
その笑顔に

強そうに生きることに  
慣れすぎていたわたし  
じぶんの弱いトコロに

ずっと目を 背けてた  
ボロボロになつた心を  
傷だらけの腕で支えて  
夜明けと同時に咳いた  
もう逃げないと

ぶつかり続けてきた惨い真実  
それが世界の全てだと思った  
陽はまた昇ると気付いたから  
この羽根も心も封じて

駆け出すよ あの街へ

天使の羽根を背負う

悪魔たちが誘つてる

何も知らぬ子供たち

お願い 許さないで

その聲音に

許せるものはひとつだけ  
じぶんの誇れる弱さだけ

ビルの屋上を影が伸びてゆく  
廃れてくこの街を陽が照らす  
見せたいもの聞かせたいこと  
いっぱいあつて

待つていて 今行くから

あとすこし 待つていて

このカラダ 癒えるまで

悪魔のレッテル貼られた

天使たちがさまよつて

このフハイしたセカイで

お願い 諦めたりしないで  
離れないで

いつまでも信じさせて  
誰もが神の子なのだと

## BLUE ROSE

いつも君の首に揺れてる  
keyモチーフのペンダント  
近くで見ないと  
分からなかつたけど

ハート形のダイヤ付いてたんだね  
バカにするように言つてみたら  
君が教えてくれた秘密  
ダイヤを輝かせるための  
珠受け座の穴が

ハート形に抜かれていること

BLUE ROSE

君が笑顔みせてくれたとき  
胸の高鳴り抑えられなかつた

BLUE ROSE

君を幸せにしたいと

心からそう思つた

君の心の薔薇を凍てつかせた  
氷が溶け始めたね、やつと  
それが大粒の涙に変わつて  
溢れ出している

Let's search for your

blue rose together.

冷たいままの青い薔薇が  
もうすぐ咲き始めるよ

ダイヤモンドは強くて脆い  
ちょっとのことじや  
傷つかないけど  
強く叩いたら簡単に  
粉々に砕けてしまうから  
ポケット中握り締めた指輪  
君のもとへいま走つてる  
過去・現在・未来…三連のjewel  
真ん中が一番輝いてる

BLUE ROSE

光を取り込むための窓の  
カーテンをまた閉めないで

BLUE ROSE

あのときの君の笑顔  
見失いたくないから  
固く閉ざした心の薔薇が  
綻び始めたね、やつと  
涙の雨で育ててゆけば  
きっと花開くよ

Let's search for your  
blue rose together.

冷たいままの青い薔薇が  
もうすぐ咲き始めるよ

Let's search for your  
blue rose together.

冷たいままの青い薔薇が  
もうすぐ咲き始めるよ

## 遠距離友達

頼むから

無視だけはしないでよ  
サヨナラくらい聞かせてよ  
そんな優しさ必要ないから  
電話でもメールでもいいから

please say good-bye.

南と北 東と西

こんなに離れてる私たち  
なんで友達になつたの  
今はもう思い出せない  
メールなんて週1回  
電話なんか月に1回  
会つたのはたつた1度だけ  
サヨナラなんて当たり前?  
そんなことないと思つてた  
信じ込もうとしていた  
だけど限界が訪れたみたい

2人のこの距離に

頼むから

無視だけはしないでよ  
サヨナラくらい聞かせてよ  
そんな優しさ必要ないから  
電話でもメールでもいいから

please say good - bye .

ハッピーバースデー  
メリークリスマス

あけおめ 理由作つて

2人のこの距離と溝

埋めようと努力した

メール友だつて友達でしょ？

君がかけてくれた電話

あの言葉は嘘じゃなかつたよね

確かめても意味ないけど

友情は距離に勝てないの？

知らずに涙こぼれて

最後にもう一度だけでも

君に確かめたかった

頼むから

理由くらい聞かせてよ

ピリオド打つたその訳を

優しい遠距離友達

電話でもメールでもいいから

please say good - bye .

自然消滅はかつてるの？

そんなのズル過ぎるよ

もう2度と会えなくとも

距離がもっと遠くなっただけだよ

頼むから

無視だけはしないでよ

サヨナラくらい聞かせてよ  
そんな優しさ必要ないから  
電話でもメールでもいいから

理由くらい聞かせてよ  
ピリオド打つたその訳を  
優しい遠距離友達  
電話でもメールでもいいから

please say good - bye .

それでも  
胸の奥で友達と呼ばせて

## 失恋した訳じやないけれど

悲しい恋の歌なんて  
今は聞けない  
聞きたくないよ  
失恋した訳じやないけれど  
大切なものをなくした気がして  
独りぼっちの未来が見えて  
人ごみの中  
ふと立ち止まる  
やつぱりみんな邪魔そうな顔して  
僕を避けて歩いていくんだ  
ああ、頼むから今は  
何も訊かないでくれ  
千切れそうな  
この魂の音を

たまね

被害妄想と受け止めてほしい  
泣きたいのに涙が出てこないよ  
笑いたいのに笑顔忘れたよ  
そんなこと絶対ないと  
嫌だと思ったのに…  
どうしてなんだろう

ハッピーホンドのドラマなんて

今は見られない  
見たくもないよ

失恋した訳じやないけれど  
心にポツカリ穴が空いてさ  
淋しいだけの人生だなんて  
生きる意味価値

あるのだろうか

物欲名譽欲なものないから  
ただその意味だけ捜して  
ああ、お願ひだ

何も言わないでくれ

屋上の上で震えていても  
寒さのせいだと思って欲しい  
誉めたいのに言葉出てこないよ  
励ましたいのに何も出ないよ  
そんなこと絶対ないと  
嫌だと思ったのに…  
なんでなんだろうか

ああ、このときだ

何だと思わないでくれ

生きたい本能死にたい理性

失恋した訳じやないのだけれど

見逃してくれないか

泣きたいのに涙が出てこないよ  
笑いたいのに笑顔忘れたよ

そんなこと絶対ないと

嫌だと思ったのに…

誉めたいのに言葉出てこないよ

励ましたいのに何も出ないよ  
そんなこと絶対ないと  
嫌だと思ったのに…  
なんでなんだろうか  
どうしてなんだろう

## 愛子　～春が来ない～

愛は「」えるものなのでしょうか  
それとも貰うものなのでしょうか  
あたしに愛子と名付けた親は  
あたしを愛してくれたでしようか  
あたしに愛子と名付けた親を  
あたしは愛してあげたでしようか  
幸子さん　あなたは本当に  
本当にあなたは幸せですか

季節は必ず巡り巡つて

春は来るものと思ってた  
だのに生まれてからこの日まで  
なんで隣に誰もいないの  
春が来ない春が来ない春が来ない  
秋に生まってきた私は  
冬を知つたつもりだった  
でも

寒すぎて寒すぎて寒すぎて  
愛しい人の腕の中で  
凍えた身体を温めたい

風が冷たく煌めいて  
オリオン座が冬を運んできた  
生まれて何度目の冬だろう  
星を見るたび涙が出てくる  
生まれて何度目の冬だろう

誰かの温もりがただ恋しくて

春子さん あなたは本当に

本当に春は来て いますか

自分磨きに精を出し

けれどもそれは誰のため?

自分のためだと言うけれど

誰かに好かれる訳じやない

春が来ない春が来ない春が来ない

季節はまた変わつてゆくのに

そこだけどうして通り過ぎるの

淋しくて淋しくて淋しくて

春の風に吹かれながら

愛にそのまま流されて いたい

春が来ない春が来ない春が来ない

秋に生まれてきた私は

冬を知つたつもりだつた

でも

寒すぎて寒すぎて寒すぎて

愛しい人の腕の中で

凍えた身体を温めたい

春が来ない春が来ない春が来ない

季節はまた変わつてゆくのに

そこだけどうして通り過ぎるの

淋しくて淋しくて淋しくて

春の風に吹かれながら

愛にそのまま流されて いたい

言葉にできないこの思いを  
どう表したらいいんだろう  
言葉や文字に出来るのなら  
少しは楽になれるかもなのに  
一生懸命突っ走つて

努力もしてきたつもりです

人一倍 二倍は頑張る

そんな人間をお前は棄てた  
近寄りがたいはないだろう  
よく知らないくせに  
よく言えたもんだな

知らずに棄てた

お前の…敗けだ

それを分かつてたつもりだよ  
使いづらい人間だつてことくらい  
だから棄てたんだろう

優しい言葉で

卑怯な逃げ方はもついらぬ

俺は type A

文字にはできないこの思いを  
どう表したらいいんだろう  
言葉や文字に出来るのなら  
ちよつとは楽になれるかもなのに

前を見てただ全力疾走

頑張ってきたつもりです

人一倍の努力はする

そんな人間をお前は棄てた

柔軟性に欠けるはないだろう

よく知らないくせに

よく言えたもんだな

知らずに棄てた

あんたの…敗けだ

そうさ分かつてたつもりだよ

はやる気持ち抑えられないくらい

だから棄てたんだろう

優しい言葉で

卑怯な逃げ方はもういらない

俺は type A

勝ち気で競争心旺盛

几帳面で努力家な俺

焦つてイライラすることもあるさ

だから棄てたんだろう

優しい言葉で

卑怯な逃げ方

そうさ分かつてたつもりだよ  
使いづらい人間だつてことくらい

だから棄てたんだろう

優しい言葉で

卑怯な逃げ方はもういらない

俺は type A

そうを分かつてたつもりだよ  
はやる気持ち抑えられないくらい  
だから棄てたんだろう

優しい言葉で

卑怯な逃げ方はもういらない

俺は type A

俺は type A

田を開じれば思い出す  
苦しかつたけど楽しかつた  
あの日々を

懐かしい曲が聞こえてきて  
砂浜の上ふと足を止めた  
こんなにも憶えた全てが  
ひとつひとつ零れ落ちてゆく  
季節はまた巡り変わるものに  
心だけがあのときのまま  
懐かしさに痛む胸で

そつと呟く『サヨナラ』を  
全てが動き出した  
変わりゆく果てしない未来へ  
波音が遠くなつていく  
背中を向け歩き出す

OCEAN

同じ波はもう来ない  
逃がせない でも逃がすしかない

海沿いの

オープニングア・レストラン

懐かしいあの曲に感結ぶ  
こんなにも愛した全てが

またひとつ零れ落ちてゆく  
ストアはもうたたみだしたのに

心だけが止まつたまま

波の音 消されてく

思い出に『サヨナラ』を

全てが変わり出した

移ろいやく僕らの世界が

波音がもう聴こえない

唇を引き結んで

OCEAN

全てが動き出した

変わりゆく果てしない未来へ

波音が遠くなつていいく

背中を向け歩き出す

OCEAN





## サイレント・メモリー

サイレント・メモリー 捜して  
未来はきっとやつてくるよ  
サイレント・メモリー 恐れず  
夢を抱いてやつて“じらん

いつもの駅で君を見た  
思い出がよみがえる  
優しいことは弱さだと  
涙した君が浮かんで  
ｗｗｗ… 言葉が出なくて  
ｗｗｗ… 唇噛み締めた  
ｗｗｗ… でも今は違う  
きちんと君に応えられる  
サイレント・メモリー 優しさは  
君の誇れる強さだよ  
サイレント・メモリー 忘れない  
君はもう君で生きて行ける

空を見上げて笑つて  
もう大丈夫なんだね  
静かすぎる思い出に  
佇んでいた僕さ  
ｗｗｗ… 君がもしもまた  
ｗｗｗ… 涙したいときは

WOW…僕の傍に来て  
思う存分泣けばいいよ  
サイレント・メモリー 捜してる  
未来はきっとやってくるみ  
サイレント・メモリー 恐れずには  
夢を抱いてやつてござらん

サイレント・メモリー  
きっとまた

僕たちはまた巡り逢える  
サイレント・メモリー 鈍行の  
自動扉が静かに閉まる

サイレント・メモリー 優しさは

君の誇れる強さだよ  
サイレント・メモリー 忘れない  
君はもう君で生きて行ける

サイレント・メモリー

You make me find a true love.  
サイレント・メモリー  
You make me find a true love.  
サイレント・メモリー  
You make me find a true love.  
サイレント・メモリー  
You make me find a true love.  
サイレント・メモリー  
You make me find a true love.

## Hウリディイケ

恋なんて一度としたくなかったと  
笑いながら君はただ泣くけれど  
恐いのは僕も同じなんだよ  
だけどもう振り返りたくないよ  
愛する人を失うことを  
覚えはしても慣れはしないから  
だから神様は涙をくれたんだ  
ついてきてくれるかい？  
震える僕の手をとつて  
連れて行くよ光の射す方へと  
だから歩き出そう  
険しくて真っ暗なこの道を  
君をエウリディイケにはさせないよ

時々ね 涙く不安になるんだよ  
君がちゃんとついてきてくれるか  
それでも君を試したりはしないよ  
闇の中に置いていきたくないよ  
振り返った途端きつと君は走つて  
闇の中に戻つてしまうだろう  
だから僕は前しか見れないんだ  
だから僕は前しか見れないんだ  
手と手を取り合つて  
体温を分かち合つて

手探りで『君』を確かめている

君を連れて行くよ

光の射す確かな出口まで

君を決して独りにはさせないよ

我儘な人の波に揉まれて  
冷たすぎるナイフにぶつかる  
過ちは何なのか

間違いは何なのか

自分らしく生きることに  
罪を感じてる

足を踏む人の冷たさに  
その心すこし疲れても  
優しさはここにある  
温もりがここにある  
だからもう怖がらず

上を見る

罪もないのに怖がることない  
それすらも出来ない世界  
必ず俺が見つけてみせる  
本当の心を

握り締めた拳も使えず  
見つめてる不安定な足元  
必ず夜は明ける  
朝はきっとやつて来る  
だからもう怖がらず  
前を見ろ  
罪もないのに罰を恐れる

その心 切なく響く  
罪もないのに怖がることない  
それすらも出来ない世界  
必ず俺が見つけてみせる  
本当の心を

## また、夏は来る

期待は裏切られるためにある  
夢は破られるためにある  
そんな悲しいこと言わないで  
また夏はやつて来る

この雨が過ぎれば  
もう夏はすぐそこ  
涙より汗が似合ひ季節  
信じてみようじゃないか  
バカにされるほどに  
全ては真夏の太陽の  
せいにすればいい  
希望は戒めるためにある  
愛は棄てられるためにある  
そんな切ないこと言わないで  
もう一度やつてみよつ  
愛を歌うアブリヤミのよつ  
宙を踊る揚羽蝶のよつ  
全靈で季節を感じよつ  
また夏はやつて来るから

坂道を上ればもう海はすぐそこ  
君が特別大好きな景色

夢見てみよつじやないか

笑われるほどに

全ては真夏の暑さの

せいにすればいい

期待は裏切られるためにある

夢は破られるためにある

そんな悲しいこと言わないで

もう一度やつてみよう

敵と闘うカブトムシのよつに

太陽に咲く向日葵のように

全身でうつろいを受け入れよう

また夏はやって来るから

希望は戒めるためにある

愛は棄てられるためにある

そんな切ないこと言わないで

もう一度やつてみよう

愛を歌うアーヴィングのよつに

宙を踊る揚羽蝶のように

全靈で季節を感じよう

また夏はやって来るから

## 向日葵

大きく背伸びして  
太陽に手を伸ばす  
お日様よりも  
そんな君が眩しいよ  
どうかそのまで  
夢を追ってください  
お日様色の眩しい  
君だけの夢がちゃんと  
叶いますように  
果てない努力がちゃんと  
報われますように

両手を大きく広げて  
太陽の匂い胸一杯吸い込む  
汗ばむ身体さえ  
愛しい僕の向日葵  
風雨に負けないで  
花を咲かせてください  
向日葵色の大きな  
君だけの想いがちゃんと  
届きますように  
君と僕の夢がいつか  
終わりますように

お日様色の眩しい  
君だけの夢がちゃんと  
叶いますように  
果てない努力がちゃんと  
報われますように

## 晩白柚

(Be yourself.  
To thine ownself be true.  
Don't worry.  
May the force be with you.  
Be yourself.  
To thine ownself be true...)

もつともつともつと強く  
なれたらいいね  
きっときつときつと強く  
なれる気がするよ  
君と君と君と共に  
歩き出しながら  
もつともつともつと傍に  
来てもいいかな  
淋しさも哀しさも虚しさも  
気持ちの弱さも

(Just dream of you) 全部包んであげるよ

太陽の色で晩白柚  
でっかくでっかく晩白柚  
包んでやるぜ  
お前のこと  
輝いてみせる  
でっかくでっかくでっかく

お前をすべて

遠く遠く遠く――」(中略)で

回り道した

だけどだけどだけどそれだけ  
強くなれたよ

君と君と君と一緒に

歩き出せるよ

きっときっときっと強くと  
誓った約束

優しさも可愛さも温かさも  
たつたそれだけを

(Just close to you)

愛したわけじゃないよ

あるくあるくあるく晚白柚

受け止めてやる

お前のすべてを

太陽よりも晚白柚

光ってみせる

あるくあるくあるくあるく

お前のこと

上手く生きて行けなくとも  
不器用なほどつまづいても  
俺の大切な約束  
太陽の色で輝かせる  
晩白柚のように  
晩白柚のように

でっかくでっかく晩白柚

包んでやるぜ

お前のこと

太陽の色で晩白柚

輝いてみせる

Hold you tight

晩白柚

受け止めてやる

お前のすべてを

太陽よりも晩白柚

光ってみせる

でっかくでっかくでっかく

お前をすべて

## 永遠に

君と一緒に生きてゆくなら  
守り続けたい明日がある  
面と向かつては云えやしないけど  
「アイシテル」

君とあの日あの時あの場所で  
逢えなかつたら…

あり得ないハナシ  
出逢えてよかつた…  
心からそう思う  
手と手をとりながら  
そつさ永遠に

I love you:  
何を悩んでるの

For ever:

僕は君を誰にも

I love you:

渡すつもりはないから  
もう君を一度と離さない  
君はもう独りじゃない  
届かない心も抱き締めて  
きつとずつと傍にいる  
たつた1つの明日を  
君と一緒に守り続ける

佇む君を抱き締めてそつそ  
「永遠に」

順境のときも逆境のときも  
病めるときも健やかなるときも  
僕は君のずっと傍にいる  
左手薬指のリングに誓つよ  
For ever...

何も心配いらない

I love you...

僕が傍にいてあげる

For ever...

それだけじゃ駄目かな

もう君以外愛せない

君を一人にはさせたくない  
こんなに傍に感じていても  
いつだって君を捜しててる  
君と一緒に生きてゆくなら  
守り続けたい明日がある  
面と向かっては云えやしないけど  
「アイシテル」

もう君を一度と離さない  
君はもう独りじゃない  
届かない心も抱き締めて  
きつとぎつと傍にいる  
たつた1つの明日を  
君と一緒に守り続ける  
佇む君を抱き締めてそつそ  
「永遠に」

そんな君がとても好きだよ  
もう自分のこと嫌いって言うな  
いつも君を想つてるんだ  
照れ臭くて云えやしないけど  
遅くはない

「大好きだよ」

## Hンドレス・ワインター

凝る白い吐息

涙さえ凍てつくような  
この絶望的な悲しみを  
なんと呼べばいい  
愛する気持ちでさえ  
何ひとつ知らないままに  
この身は土に還れと

君は言うのか

消えてしまえばいいのですか  
消えてしまえばいいのですか  
消えてしまえばいいのですか  
消えてしまえばいいのですか  
ひとりぼっちの  
メリークリスマス  
ひとりぼっちの  
ハッピー・ユーハヤー  
どれだけ過ごせばいいのですか  
何度も繰り返せばいいのですか  
教えてください

裏切られて傷心

テレビの向こうの成功者

この絶望的な格差

どう受け止めりやいい

愛されることなく  
認められることなく

魂は空の彼方へ  
昇るしかないのか

死んでしまえばいいのですか  
死んでしまえばいいのですか  
死んでしまえばいいのですか  
死んでしまえばいいのですか  
死んでしまえばいいのですか

ひとりぼっちの  
バレンタインデー

ひとりぼっちの  
ハッピーバースデー

どれだけ過ごせばいいのですか  
何度も繰り返せばいいのですか  
教えてください

教えてください…

## 生きとじ生ける者たちへ

僕はもう生きる気力が  
すっかり枯れ果てたから  
最後に僕の拙い歌を  
聴いていただけませんか  
夜になれば朝が怖くて  
朝になれば夜が辛くて  
そんな毎日を送つてゐるうちに  
すっかり疲れてしまつたのです  
暗いニュースも明るいニュースも  
聞いていてとても辛かつた  
僕の居場所はどこにもない  
この世界にいるうちは  
生きとし生ける者たちよ  
君はいま幸せですか  
それならそれでいいのです  
僕には関係のないこと  
ずっと幸せでいてください  
人生を歩んでいてください  
その命 燃え尽きるまで

恋に破れ 夢に破れ  
生きる希望を失いました  
ハッピーバースデー そして  
メリークリスマス

いつだってひとりぼっちでした

一生懸命生きてきて

挙げ句の果てにこの仕打ち

この世を恨んだりもしました

けれども それも最後

生きとし生ける者たちよ

僕は愚か者です

あなたはそんな風にならないで

生きてください

この世は素晴らしいところです

そして最低なところです

けれどもそんな世界に

負けないでください

生きとし生ける者たちよ

僕の歌はこれで終わりです

けれども最後にひとつだけ

…ありがと…

真夜中つけたホームページ

『楽な自殺の仕方』

首吊り 飛び降り

深酒して冬の街をブラブラ  
べつに死にたいわけじゃない  
だけど生きるのも苦しい

父の浮気 母の愚痴

兄のリストラ 自殺志願の僕

冬の夜がやつて來た

氷点下の世界

さあ旅立とうか 死の旅へ

Never say die!

誰かが叫んでる

でも僕の決意は固いよ  
それぐらいで揺らぐなら  
薄着のまま外へは出ないよ

See you , world . . .

オーバードーズ 深酒  
そのまま街へフラフラ  
大好きな星でも見て  
あの世へ逝こうか  
生きていっても良いことない  
死んでもないだうけど

あの山の頂上行つて  
眠りにつこうか

誰か泣いてくれるかな

関係ないけど

さあ旅立とうか 死の旅へ

N e v e r s a y d i e !

皆が叫んでる

でももう全てが遅いよ  
小山の頂上に着いたし  
力が段々抜けてきたよ

S e e y o u , w o r l d . . .

あれがシリウス

あれがプロキオン

あれがベテルギウス

意識なくなる前に

涙が一筋 頬を伝った

N e v e r s a y d i e !

誰もがそう言うけど

出来ない事情だつてある

意識も薄れてきちゃつて

あとは死を待つだけだよ

S e e y o u , w o r l d . . .

## 王子様なんて信じない

いつか必ず王子様が なんて  
夢見たりしないの  
私はお姫様じゃないの  
そんなのゴメンだもの  
合コン パーティ おめかしして  
ここが勝負どころね  
私にあつた素敵なヒト  
必ずGETしてみせるわ  
無理に愛想良くなんかしない  
ギャップで胸キュン マジック  
そして恋の矢ブッ放すの  
王子様なんて信じない  
恋はやつて来るものじゃなくて  
捕まえに行くものだもの  
赤い糸なんて信じない  
前世からの約束なんかに  
縛られていたくないもの  
待つてねダーリン

ボリュームマスカラ

隠れコンシーラー

準備は万端

お姫様なんかになればしない  
けど全力は尽くしたいの

偶然見つけたピピッとするヒト

恋の始まり

私の腕の見せどころね

必ず射止めてみせるわ

一枚着るのは淑女のかしなみ

ちゃんとしたオナナ マジック

一度で二度美味しいは基本よ

王子様なんて信じない

恋は待ち構えるものじゃなくて

追いかけるものなの

運命なんて信じない

出逢いは必然なんかじゃなくて

いつだって作戦のうちよ

覚悟してダーリン

いつか本当に出逢えるかしら

いいえ本当に出逢つてみせるわ

私だけの素敵な人

王子様なんて信じない

どんなティアラを被つたって

そんなヒト現れないわ

占いなんて信じない

良いも悪いも私次第

結果なんて分からぬもの

気を付けてダーリン

## Tangerine voice

おコタで蜜柑 素敵な幸せ  
隣には貴方 笑っちゃうよね  
それだけでなんだか  
嬉しくなるの

元気の源

タンジエリン・ヴォイス

A h

夕陽は素敵なシチュエーション

A h

大っきな蜜柑がほら沈んでいく

l u l u l u l a l a

t a n g e r i n e v o i c e

今すぐここに届けてよ

l u l u l u l a l a

t a n g e r i n e v o i c e

貴方の素敵な声で

外に粉雪 降るよつた季節は

寄り添い合つて

タンジエリン・ヴォイス

A h

ほら見て朝陽が昇つてくよ

A h

大っきな蜜柑が私たちを照らす

lu lu lu 1 a 1 a

tangerine voice

ねえお願い今すぐ

lu lu lu 1 a 1 a

tangerine voice

貴方の元気 分けて欲しい

凍えそうな 寒いような夜は

甘い蜜柑に 心委ねて

lu lu lu 1 a 1 a

tangerine voice

今すぐここに届けてよ

lu lu lu 1 a 1 a

tangerine voice

貴方の素敵な声で

lu lu lu 1 a 1 a

tangerine voice

ねえお願い今すぐ

lu lu lu 1 a 1 a

tangerine voice

貴方の元気 分けて欲しい

lu lu lu 1 a 1 a

tangerine voice

:

## TE QUIERO

抱き締めた胸のTE QUIERO  
しまい込まず解き放て  
その心 傷を負つこと  
恐れることなど何もないさ

I'll get you and destiny.

そうぞ運命は

廻り続ける人生の歯車だから

TE QUIERO この世界は  
TE QUIERO 誰の物でもない  
TE QUIERO 生き続けるんだ  
TE QUIERO その心 在る限り

燃え上がれ心のTE QUIERO

迸らせ アイツを狙え

傷付いたままでもいいさ

他の誰かと出逢うまで

I'll get you and freedom.

そうぞ自由は

誰も奪えない君自身の夢だから

TE QUIERO この世界は

TE QUIERO ボーダーなどない

TE QUIERO 生き続けるんだ

TE QUIERO その心 在る限り

I - 11 get you and destiny.

そつと運命は

廻り続ける人生の歯車だから

TE QUIERO この世界は

TE QUIERO 誰の物でもない

TE QUIERO 生き続けるんだ

TE QUIERO その心 在る限り

## 『だれか』

窓の結露に相合い塗描いて  
私の隣『だれか』と書いた  
未だ見ぬ未来の恋人

待ち続けて

ひとりのとき胸が苦しくなる  
嗚呼お願い早く  
私を見つけて

この苦しみに胸が  
張り裂ける前に

人はどうして 愛を求めて  
闇の中をさまよう運命さだめ  
眠れぬ夜を幾度も繰り返し  
いつか出会うべき  
『だれか』を探し続ける

もう恋なんてしないと決めて

それでも隣

『だれか』にいてほしい  
次に来る未来の恋人

探し続けて

ひとりの夜 人肌恋しくなる  
嗚呼お願い早く

ここに辿り着いて

この寂しさに眼が

涙色 染まる前に

人はどうして 恋をしながら

別れを繰り返す運命さため

眠れぬ想いを胸に焼き焦がし

いつか出会うべき

『だれか』を求め続ける

人はどうして 愛を求めて

闇の中をさまよう運命さため

眠れぬ夜を幾度も繰り返し

いつか出会うべき

『だれか』を探し続ける

いつか出会うべき

『だれか』を求め続ける

## ペンギン

ペンギンは翔んだんだ  
君はもうひとりで  
生きていけるね

氷原の中ひとり佇み  
その黒々とした目を開き  
まるで（まるで）何かを（何かを）  
望んでるかのように

小さな命を温め  
自分は冷たい海の中へ  
小さな（小さな）足で（足で）  
氷を踏みしめ

俺もガキの頃は大空を  
自由に飛びたいと思つた  
君の小さなその夢は  
叶えることは可能なのか

ペンギンは翔んだんだ  
(ペンギンが翔んだ)  
君はもうひとりで  
ペンギンは翔んだんだ  
(ペンギンが翔んだ)  
空を翔べるね

狭い檻の中 閉じ込められ

人ヒトのプールの中へ  
人の（人の）田たを（田たを）  
すく氣きにして

同じ仲間と戯おれたり

飼育員に餌えを貰うつたり

樂な（樂な）生活（生活）

そう誤解ごかいされたり

学生の頃ごろ 自由じゆうを求めて

散々バカやつてきただけど

君きみの小さな憧うらやまは

いつか叶かなうものだらうか

ペンギンは翔あんだんだ

（ペンギンが翔あんだ）

君きみはもうその手に

ペンギンは翔あんだんだ

（ペンギンが翔あんだ）

自由じゆうを手にした

小さな頃ごろの憧うらやまと

今は全く違ちがうけど

やつと手にした羽はを広げ

この広い世界せかいへ yeah

ペンギンは翔あんだんだ

（ペンギンが翔あんだ）

君きみはもうその手に

ペンギンは翔あんだんだ

（ペンギンが翔あんだ）

自由じゆうを手にした

ペンギンは翔んだんだ

(ペンギンが翔んだ)

君はもうひとりで

ペンギンは翔んだんだ

(ペンギンが翔んだ)

空を翔べるね

ペンギンは翔んだんだ

君はもうひとりで

生きていけるね

## 俺は自分しか信じない

俺は誰も信じない  
俺は誰も許さない  
世の中蔓延る依怙贋廻  
その渦中には俺がいる  
俺の何が気に入らないのか  
俺の何処が気に入らないのか  
叱つてくるのもただ単に  
俺が嫌いなだけなんだろう  
俺は誰も信じない  
俺は誰も許さない  
自分勝手に生きやがる  
そんな奴等に同情しない  
俺は誰も信じない  
俺は誰も許さない  
俺は誰も許さない  
俺は自分しか信じない  
俺は何も信じない  
俺は何も許さない  
心を許すということは  
自分の弱味を見せることが  
人の弱味につけこんで  
散々搾り取った挙げ句  
ポイして回る優等生  
それを許してゐる世間が憎い

俺は何も信じない  
俺は何も許さない  
自分勝手に生きやがる  
そんな奴等に同情しない

俺は何も信じない  
俺は何も許さない  
俺は何も許さない  
俺は自分しか信じない

俺は誰も信じない  
俺は誰も許さない  
自分勝手に生きやがる  
そんな奴等に同情しない  
俺は誰も信じない  
俺は誰も許さない  
俺は自分しか信じない

## 泣かないで～ ye11～

いくら努力を積み重ねても  
オンリーワンのままじゃ嫌だと  
数字を憎んだそのときも  
花の肥やしになるものさ  
花屋の店先並んでる  
花にも売れ残りがあると  
酔つたフリして泣いていた  
そんな時間が哀しいよ  
泣かないで 忘れないで  
泣かないで 思い出して  
この街で誰かが君に  
見えないye11を贈っていることを

人生困難に立ち向かっても  
修行修行のままじゃ嫌だと  
不幸を想つたそのときも  
綺麗な水になるものさ  
誰の目にも留まらないまま  
枯れてしまう花だつてあると  
涙浮かべた水割りが  
心の中に凝つてる  
泣かないで 振り向いて  
泣かないで 顔を上げて  
僕がここにいるよ

見えない ye11を贈りながら

人は人 自分は自分

見方を変える 自分を好きになれ  
それが簡単じゃないことくらい  
僕には痛いほど分かるから  
泣かないで 元気を出して  
泣かないで 力のかぎり  
花を咲かせてみよう

見えない ye11に応えるように

泣かないで 元気を出して  
泣かないで 力のかぎり  
花を咲かせてみよう

見えない ye11に応えるように

もし一つだけ願いが叶うなら  
あの人とのココロ 私に下さい  
うまくいってた その筈なのに  
突然世界を離れていったヒト  
あの日から私 大人になれなくて  
子供みたいに夜通し泣いてた  
どうしてどうして 頭の中は  
その言葉ばかり ぐるぐる廻る  
誰か助けて 誰か助けて

この悲しみを 誰か消し去つて  
第2ボタンも名札もなくて  
空っぽの掌 今日は卒業式

“もし君の心 拒んだとしたら  
今ある友情 崩したくなかった”  
そんなの狡いよ 狡いよそんなの  
友情を言い訳に使うだなんて  
あの日から私 何か足りなくて  
深い水の底 もがき続けた  
人命救助 差し出す手はなく  
手はただ空くうを  
掴みかけるだけ  
誰か助けて 誰か助けて  
この苦しみを 誰か取り除いて

3月の中の卒業式は  
今日が私の失恋記念日

この喪失感と届かないよね  
この心地よい気付いてないよね

ただ悲しくて　ただ苦しくて  
この恋心　卒業しないと  
空っぽの掌　卒業式  
今日が私の　卒業式

## 「コピー＆ペースト

暗い室内 冷めたコーヒー  
白い画面見て言葉を探す  
超がつくほど自由な空間  
欲しい物もすぐ手に入る  
辛い現実 慣れてしまつて  
異論暴論 応えもせずに  
君への返事も「コピー＆ペースト  
そう ここは酷い空間ですね  
(<http://www.com/>)

「ミニアニケーション

言葉はいいけど

裏を返せばただの悪口

バーチャル リアル

そう変わりない

欲しい言葉はただ一つだけ

“君が本当に必要なんだ”

“大っ嫌いよ  
もうサヨナラなの”  
現実こんなに痛かつたつけ  
どこかで道を間違えたのかな  
ああ太陽が僕を笑つてる  
仮想現実 癒しもくれず  
惨い現実 繰り返すだけ  
君へのコメも コピー＆ペースト  
そう ここは哀しい空間ですね

(http://www.com/)

逢つてみたいよ その言葉は  
僕たちの期待 裏切るだけ  
身体も心も蝕んでいく  
欲しい言葉はたつたこれだけ  
“君が本当に大好きなんだ”

暗い室内 冷めたコーヒー  
すっかり手慣れた  
コピー＆ペースト  
マニアケーション  
僕に用はない?  
欲しい言葉は ここにはない  
“君はいるべき存在なんだ”

細雪の前触れの曇天そら  
流るる涙ひとしづく ただ一滴ひとしずく  
私とあの人どこが違うの?  
あの時の君の表情かお

忘れない

辛い現実にぶつかつて  
傷付いたその翼を

凍える両手で温めて

ただ夜明けを待っている  
夢を知らずに逃げないで  
諦めることは簡単だけど  
いつか必ずこれを気付いて  
夜はきっと明けるよ

君のために

真っ白な粉雪降り

真っ赤な頬に手袋あてる

もう大丈夫 心配しないで

泣きそうな君の表情かお

忘れない

諦めたの? その夢を  
傷付いたその心を

繕うことなく放置して

現実だけを背負つてる

夢から田をそむけないで  
捨て去ることは容易だけど

いつか必ず思い出して

夢はきっと叶うよ

夢を信じて

夢を知らずに逃げないで  
諦めることは簡単だけど

いつか必ず思い出して

夢はきっと叶うよ

夢を信じて

君のために

# Ticket To Paradise Of Choo Choo Train

どこまでも輝く空に

掴むため僕は行くんだ

let's go!

行こう(行こう) 行こう(行こう)

たつたひとつ憶えてた夢を

手放したりしない

行こう(行こう) 行こう(行こう)

行こう(行こう) 行こう(行こう)

行こう let's go!

不器用なほど躊躇しても

手に入れた ticket to paradise

選んだわけじゃない

自信なんてないけど

僕らがレールを作るのさ

今までの人生に

夢追いかけて one night  
let's go, choo choo train  
連れて行つてよmidnight  
so please, choo choo train

僕だけの軌跡を描こう

この両翼にはプロペラがないけど

でも必ず翔ばしてみせるよ

どんなに忙しくたって

生きることは怠けやしない

やっと掴んだ ticket to paradise

なくしたりしない

行こう(行こう) 行こう(行こう)

行こう(行こう) 行こう(行こう)

行こう let's go!

たった一言口にした夢を

行こう(行こう) 行こう(行こう)

行こう(行こう) 行こう(行こう)

行こう(行こう) 行こう(行こう)

叶えるため僕は行くんだ

夢追いかけて one night

let's go , choo choo train

連れて行つてよ midnight

so please , choo choo train

## 月明かりのエスケープ

月明かりの下のエスケープ  
ポラリスに向かつて走る  
凍える夜を切り裂いて  
この願い もう一度

Oh , baby , come

on now .

切つ掛けは些細な出来事

ちょっととしたボタンの掛け違い

運命の歯車は廻り始め

君は夜の街へと飛び出す

I say yes , you say no .

なぜこんなにもすれ違うの  
嘘でもいいから微笑んで

So please . Oh , lord .

月明かりの下のエスケープ

目指す彼方 北斗七星

明けゆく夜を乗り越えて

この想い もう一度

Oh , baby , come

on now .

いつのまにか君なしでは  
生きてゆけなくなつていた  
だのに君を傷つけるだけで  
何も出来ない自分が憎い

I say go , you say stop .

これほどまでに離ればなれ  
狂った歯車 元に戻そう?

So please . Oh , lord .

月明かりの下のエスケープ  
ポラリスに向かつて走る  
凍える夜を切り裂いて  
この願い もう一度

Oh , baby , come on now .

月明かりの下のエスケープ  
目指す彼方 北斗七星  
明けゆく夜を乗り越えて  
この想い もう一度

Oh , baby , come on now .

月明かりの下のエスケープ  
ポラリスに向かつて走る  
凍える夜を切り裂いて  
この願い もう一度

Oh , baby , come on now .

時のトビラをノックして  
未来のあなたに逢いましょう  
何も怖れることはない  
いつだって自分が傍にいるから

眠れぬ夜は星を数えましょう  
それでも駄目なら  
思い切り泣きましょう  
過去を忘ることはできないけど  
未来を探す糧になるでしょう  
思い出した哀しみは全て  
涙の海へと流しましょう  
とても優しい冷たさで  
川が海へ流れていくよ

雨上がりの空に虹を探しましょう  
それが夜なら月を探しましょう  
哀しみをひとつ忘れたときに  
優しさをひとつ見付けるでしょう  
時のトビラをノックして  
未来のあなたに逢いましょう  
何も怖れることはない  
いつだって自分が傍にいるから

思い出した哀しみは全て  
涙の海へと流しましょう  
とても優しい冷たさで  
川が海へ流れていくように

## 涙なんかもういらない

俺が君を守るよと  
言つてくれた日から  
濡らした枕も  
自然に乾いていった  
愛し愛されることが  
こんなにも勇気を  
与えてくれるものだと  
知らずにいたんだ

青い空 白い雲 隣には貴方  
二人肩寄せあい口付けを促す  
人を信じることなんて  
できやしなかつた  
騙し騙されることに  
疲れきっていた

そんな日々の中 偶然出逢つた  
唯一心を許せる人  
もう泣かなくていいと思った  
もう泣かなくていいと思えた

俺が君温めるよと  
言つてくれた日から  
少し前を見て  
歩けるようになつたんだ  
涙なんかもういらない

そう決めてから

一步一歩確実に

歩み始めた

赤い朝陽照らして

貴方の横顔

寒いからと嘘をついて

腕まで組んだ

人を好きになるなんて

できやしなかつた

裏切られることばかり

怯え続けた

そんな日々の中 やつと出逢えた

この心 奪つていった人

人を信じることなんて

できやしなかつた

騙し騙されることに

疲れきっていた

そんな日々の中 偶然出逢った

唯一心を許せる人

もう泣かなくていいと思った

もう泣かなくていいと思えた

ねえどうしたんだい

浮かない顔をしてるね  
塞がつていない過去の傷が

また開いてしまったのかな

大丈夫なんて

うわべだけの笑顔向けられても  
脆く弱い僕の心は

どうしたらしいのが分からぬ  
明るく励ましやいいのかな

そつと寄り添えればいいのかな

僕は君に何をすれば

君の薬箱になれるのかな

care：君に勇気をあげる

なけなしの勇気の

欠片でしかないけど

受け取つてほしいんだ

君の笑顔を見たいんだ

本当の笑顔を僕に見せてよ

ねえ心配だよ

笑顔が曇つてるから

せめて僕の前でくらい

思いきり涙見せてほしい

平氣だよなんて

形だけ気丈に振る舞われても

頼りなくて惨めな僕は

何をすべきか分からない

頑張れなんて言わないよ

君の頑張りを知っているから

死ぬ気なら何でも出来るなんて

無責任なことも言わないよ

care…君に愛をあげる

重たすぎる僕の

ひと欠片の愛情を

受け取つてほしいんだ

君の笑顔を見たいんだ

本当の笑顔を僕に見せてよ

care…君に勇気をあげる

なけなしの勇気の

欠片でしかないけど

care…君に愛をあげる

重たすぎる僕の

ひと欠片の愛情を

受け取つてほしいんだ

君の笑顔を見たいんだ

本当の笑顔を僕に見せてよ

## アームカッター

7本目のカットで  
ピタリと手を止めた君  
他人の傷まで背負つて  
君は生き続けている  
どうしても止められない  
理由な<sup>わけ</sup>らしい

言葉で言い表せないこと

分かつてゐるから

自己中心的な人の波に  
君は疲れ果てて…

涙見せてもいいよ

Please, be yourself.

それで笑えるなら

腕に残る傷に  
垣間見える痛み

心が痛みに慣れてしまつて

身体は痛みを感じない

他人の傷を何倍にもして  
君が背負うことないのに…

Please, be yourself.

嘘をついてもいいよ

Please, be yourself.

それで笑えるなら

Please, be yourself.  
涙見せてもいいよ  
Please, be yourself.  
それで笑えるなら

## いきたいよ

行きたいよ 君のところへ

繋いだ手を離さないで

“生きたいよ”

そう叫ぶ声よ 天に届け

違う道を歩んでもいたら  
運命は変わって

いたかもしれない

残り少ない人生を

どんな風に生きればいいの?

行きたいよ 君のところへ

この背の翼 羽ばたかせて

“逝きたいよ”

もう一度とそんなこと願わない

サヨナラするために出逢うなら  
どうしてこんなに馴れ合いつの

『また来るよ』遠ざかる背中に  
永訣の瞬間<sup>とき</sup>を垣間見る

行きたいよ 君のところへ

繋いだ手を離さないで

“生きたいよ”

そう叫ぶ声よ 天に届け

行きたいよ 君のところへ  
この背の翼 羽ばたかせて  
“逝きたいよ”  
もう一度とそんなこと願わない

## 雨ニモ負ケズ

雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ  
決していからず

いつも静かに笑っている  
そんな人間に なれるだらうか  
そんな人間に逢えるだらうか

青空の下における六等星小僧の  
戯れ言に耳傾けることいや

この世は理不尽  
エンジン全開しても

思い通りにや到底ならぬえ  
誰かが陰口 誰かの悪口

いつでもどこでも誰かがグチグチ  
愚痴こぼす

この世の中いうんざり

カツコつけてる俺 バカみてえ  
雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ  
決していからず

いつも静かに笑っている  
そんな人間に なれるだらうか  
そんな人間に逢えるだらうか

誰が悪いのとアラ探す奴の  
密やかな声に耳そばたてりや

人間誰しも不平不満ばかり

小部屋に渦巻く不幸自慢ばかり

ランプも点けずに角曲がる

ひとけ  
人気もないのに

クラクション鳴らす

道端でチャリに乗つて話すなよ

迷惑なんだよ

いちいちうるせえ？

雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ

決していからず

いつも静かに笑つている

そんな人間に なれるだろうか

そんな人間に逢えるだろうか

雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ

決していからず

いつも静かに笑つている

そんな人間に なれるだろうか

そんな人間に逢えるだろうか

修羅

街角のくわえ煙草  
口許に点る螢火  
フィルターまで吸つて  
揉み消すのは短い希望か  
灯りの消えた夜に  
微笑むのは誰  
無邪気な願いは  
色褪せて大人びていく  
知らねば迷わぬ修羅の道  
報国の心 春風に流れ  
何が貴様を突き動かすのか  
何が俺等を突き動かすのか  
籠の鳥  
啼かぬというなら  
啼かせてみやがれ  
BABY

窓際の古いピアノ  
鍵盤に踊る指先  
スタッフカード刻んで  
奏でるのは終焉の序曲か  
迷い込んだ迷路で  
時を止めた俺  
壊れた未来は

少女たちの眼差しの中

知らねば迷わぬ修羅の道

無血革命 夢のまた夢

何が貴様を突き動かすのか

何が俺等を突き動かすのか

籠の鳥

啼かぬといふなら

啼かせてもらおう

B A B Y

風に揺れるポニー テール

シンクロする影

マジなプライドは

憂いだけ残し碎けた

知らねば迷わぬ修羅の道

地図もなく標さえなく

何を信じて進めばいいのか

何を抱いて歩めばいいのか

知らねば迷わぬ修羅の道

曙の鴉すべて殺めて

何が貴様を突き動かすのか

何が俺等を突き動かすのか

籠の鳥

啼かぬといふなら

啼かせてください

B A B Y

ボクは破壊する、この不都合なセカイを

自分の価値なんて  
自分で決めればいい  
指も動かせない

狭い小部屋に

こうして閉じ込めた  
キミがそれを言うの?  
道を間違つてから  
ボクの居場所はここにない

イヤホン越しの音量

ボリュームは最大限  
周りからの雑音なんて  
ぜんぶ、シャットアウト  
「甘い夢なんて  
見なければよかつた  
知らないままなら  
辛くはなかつた」

子供にそう思わせるのが  
セカイなら

そんなモノ 壊シテヤル

生きなさい 何か  
物事を成すのなら  
成功をおさめた  
その秘訣を

命懸けと称した

キミがそれを言うの?

青雲を踏み外してから

ボクの居場所はここにない

アイマスクさげる朝

目を開けても真っ暗

流れ往く景色なんて

ぜんぶ、シャツトアウト

「疲れちゃったよ

人に譲ることに

ボクだつて真ん中

歩いてみたい

子供にそう言わせるのが

セカイなら

そんなモノ 潰シテヤル

## どうか

水面に映る月の影を  
細波が歪めるように  
鏡に映るわたしの影  
誰かがヒビを入れた  
鏡に映つた影ですべて  
知つた気にならないで  
くずしたあの人姿に  
濡れ衣だけ着せないで  
どうか

乱世に突如現れた  
瑞兆を斬り伏せて  
自ら救いを手放してまで  
助けを求める意味は何?

地上に降りた月の天女  
世界に引き留めるため  
松にかかつた天の羽衣  
誰かがぬすんでいった  
偽の羽衣まとう人を  
神などと呼ばないで  
空を懐かしむ天女を  
地上に落とさないで  
どうか

平穏を夢見る人の

憧憬は夜叉にあり  
正義を語る人斬りは  
いつたい何を信じるの？

救えない、導けない  
あなたは何を求めているの  
主觀だらけの人生で  
共感など求めないで  
どうか

平穏を夢見る人の  
憧憬は夜叉にあり  
正義を語る人斬りは  
いつたい何を信じるの？

乱世に突如現れた  
瑞兆を斬り伏せて  
自ら救いを手放してまで  
助けを求める意味は何？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0626f/>

---

竜胆の花と青い薔薇

2011年9月10日08時10分発行